

# 平成30年 南砺市総合計画市民意識調査結果の概要について

## I 調査実施要領

### (1) 調査の目的

この調査は、「南砺市総合計画後期基本計画」における成果指標の目標値の達成率などから施策の実行度合いや成果の把握の参考資料とすることを目的とする。

### (2) 調査対象

南砺市在住の満18歳以上(平成30年4月31日時点)の方から2,500人を無作為に抽出。

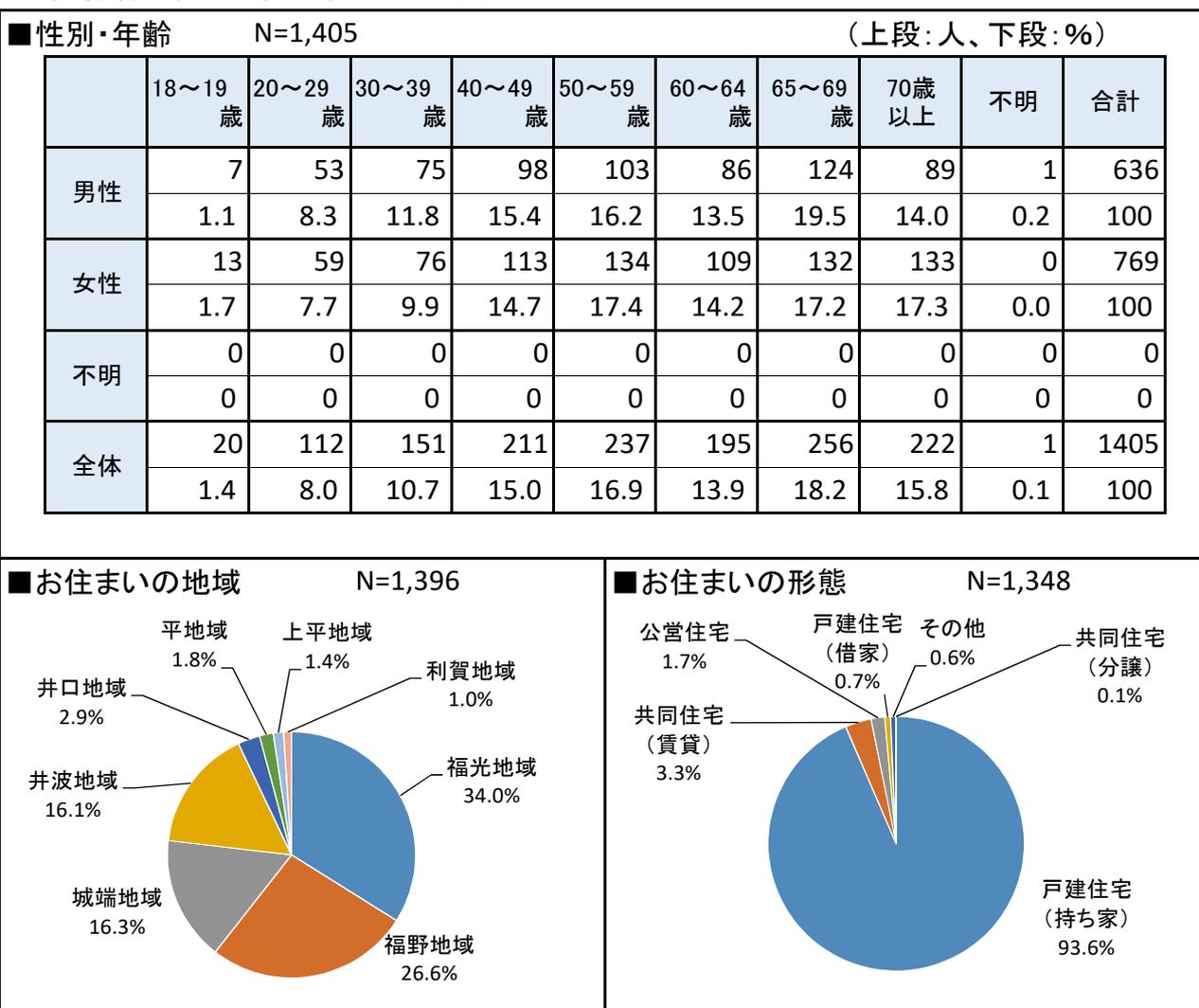
### (3) 有効回答数

1,405人 (有効回答率56.2%)

### (4) 調査方法

宅配便による配布、郵送による回収

### (5) 回答者の性別・年代・住まいの地域



## II 調査結果の概要

1 自然環境の保全(問10)	2 エコビレッジ活動(問11)																					
<p>・自然環境が美しく保たれているかについては、全体の8割弱の市民が美しく保たれていると思っている。</p> <p>■自然環境の保全 N=1,361</p> <table border="1"> <caption>自然環境の保全 (問10) の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美しく保たれていると思う</td> <td>52.8%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば思う</td> <td>25.5%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば思わない</td> <td>8.7%</td> </tr> <tr> <td>思わない</td> <td>9.4%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>3.5%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	美しく保たれていると思う	52.8%	どちらかといえば思う	25.5%	どちらかといえば思わない	8.7%	思わない	9.4%	わからない	3.5%	<p>・エコビレッジ活動についてみると、「ごみの再資源化」が70.9%と数値が最も高く、次いで「ごみの減量化」が68.3%、「地球温暖化防止の対策」が29.5%となっている。</p> <p>■エコビレッジ活動TOP3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみの再資源化</td> <td>ごみの減量化</td> <td>地球温暖化防止の対策</td> </tr> <tr> <td>70.9%</td> <td>68.3%</td> <td>29.5%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	ごみの再資源化	ごみの減量化	地球温暖化防止の対策	70.9%	68.3%	29.5%
回答	割合																					
美しく保たれていると思う	52.8%																					
どちらかといえば思う	25.5%																					
どちらかといえば思わない	8.7%																					
思わない	9.4%																					
わからない	3.5%																					
1位	2位	3位																				
ごみの再資源化	ごみの減量化	地球温暖化防止の対策																				
70.9%	68.3%	29.5%																				

3 市内幹線道路(問12、13)	4 生活道路(問14、15)																		
<p>・市内の幹線道路については、3割強の市民が不都合を感じている。</p> <p>・不都合な理由は、「危険箇所がある」が最も多く、4割強となっている。</p> <p>■市内幹線道路の不都合な理由TOP3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険箇所がある</td> <td>道路がきちんと舗装されていない</td> <td>右折レーンがない</td> </tr> <tr> <td>43.8%</td> <td>33.2%</td> <td>20.8%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	右折レーンがない	43.8%	33.2%	20.8%	<p>・生活道路については、4割強の市民が不都合を感じている。</p> <p>・不都合な理由は、「危険箇所がある」が最も多く、4割弱となっている。</p> <p>■市内生活道路の不都合な理由TOP3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険箇所がある</td> <td>道路がきちんと舗装されていない</td> <td>カーブミラーやガードレールがない</td> </tr> <tr> <td>38.0%</td> <td>34.5%</td> <td>26.2%</td> </tr> </tbody> </table>	1位	2位	3位	危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	カーブミラーやガードレールがない	38.0%	34.5%	26.2%
1位	2位	3位																	
危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	右折レーンがない																	
43.8%	33.2%	20.8%																	
1位	2位	3位																	
危険箇所がある	道路がきちんと舗装されていない	カーブミラーやガードレールがない																	
38.0%	34.5%	26.2%																	

5 公共交通機関(問17)																									
<p>・公共交通機関については、9割強の市民が「あまり利用しなかった」と答えている。</p> <p>・使いやすさについては、4割弱(JR城端線)、6割弱(市営バス)が「わからない」と答えている。</p>																									
<p>■公共交通機関の使いやすさ(JR城端線) N=1,206</p> <table border="1"> <caption>公共交通機関の使いやすさ(JR城端線) (問17) の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わからない</td> <td>38.2%</td> </tr> <tr> <td>使いやすいと感じない</td> <td>14.8%</td> </tr> <tr> <td>使いやすいと感じる</td> <td>31.2%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じる</td> <td>11.5%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じない</td> <td>4.3%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	わからない	38.2%	使いやすいと感じない	14.8%	使いやすいと感じる	31.2%	どちらかといえば使いやすいと感じる	11.5%	どちらかといえば使いやすいと感じない	4.3%	<p>■公共交通機関の使いやすさ(市営バス) N=1,174</p> <table border="1"> <caption>公共交通機関の使いやすさ(市営バス) (問17) の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わからない</td> <td>58.3%</td> </tr> <tr> <td>使いやすいと感じない</td> <td>9.3%</td> </tr> <tr> <td>使いやすいと感じる</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じる</td> <td>7.5%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば使いやすいと感じない</td> <td>2.3%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	割合	わからない	58.3%	使いやすいと感じない	9.3%	使いやすいと感じる	22.6%	どちらかといえば使いやすいと感じる	7.5%	どちらかといえば使いやすいと感じない	2.3%
回答	割合																								
わからない	38.2%																								
使いやすいと感じない	14.8%																								
使いやすいと感じる	31.2%																								
どちらかといえば使いやすいと感じる	11.5%																								
どちらかといえば使いやすいと感じない	4.3%																								
回答	割合																								
わからない	58.3%																								
使いやすいと感じない	9.3%																								
使いやすいと感じる	22.6%																								
どちらかといえば使いやすいと感じる	7.5%																								
どちらかといえば使いやすいと感じない	2.3%																								

### 6 災害時の備え(問17)

・住宅用火災警報器、消火用器具については、大半の家庭は火災への対策を行っている。  
 ・一方、家具類の固定や災害時の食料や水については低く、地震等の大規模災害への対策を行っている家庭は少ない。

■市民が取り組む災害に対する備えTOP3

1位	2位	3位
住宅用火災警報器	災害時に避難する場所を決めている	消火用器具を備えている
83.3%	74.9%	70.4%

### 7 交通安全活動(問18)

・市民の4割弱が過去1年間に交通安全活動に参加しており、活動内容は「交通安全街頭指導」、「交通安全教室」などである。

■交通安全活動や行事への参加

N=1,376

回答	割合
はい	32.8%
いいえ	67.2%

### 8 犯罪被害の防止(問20)

・犯罪を防止するため、自動車内の貴重品の管理、家の戸締り、悪徳商法に注意を払っている市民が多い。

■犯罪に遭わない取り組みTOP3

1位	2位	3位
自動車を離れるときに、貴重品やバッグなどを車内に置かない	出かけるときは必ず戸締りを確認する	悪質商法などの消費者被害にあわないよう気をつけている
83.3%	74.9%	70.4%

### 9 クーリング・オフ制度(問21)

・9割弱の市民が言葉も意味も知っている。

■クーリング・オフ制度を知っているか

N=1,376

回答	割合
言葉も意味も知っていた	85.4%
言葉は知っていたが意味は知らなかった	8.7%
言葉も意味も知らなかった	5.9%

### 10 冬季の暮らし(問22、23)

・6割の市民が冬季も安心して暮らせると答えている。  
 ・冬季の暮らしが不安だという要因には、住居や道路の除雪の不十分さがある。

■冬季の暮らし

N=1,391

回答	割合
安心して暮らすことができる	11.1%
安心して暮らすことができない	8.3%
どちらかと言えば安心して暮らすことができる...	80.6%

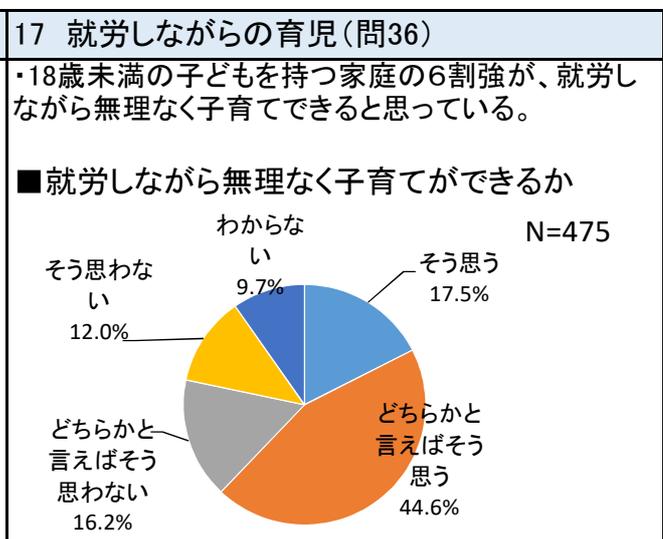
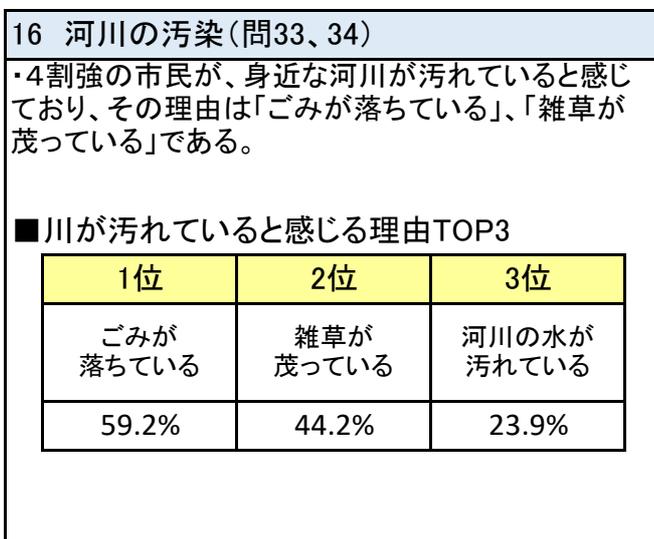
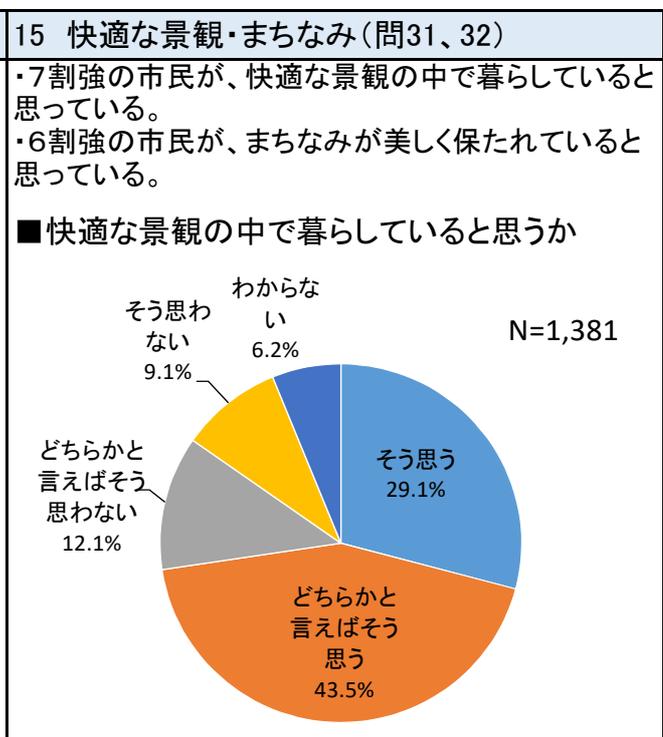
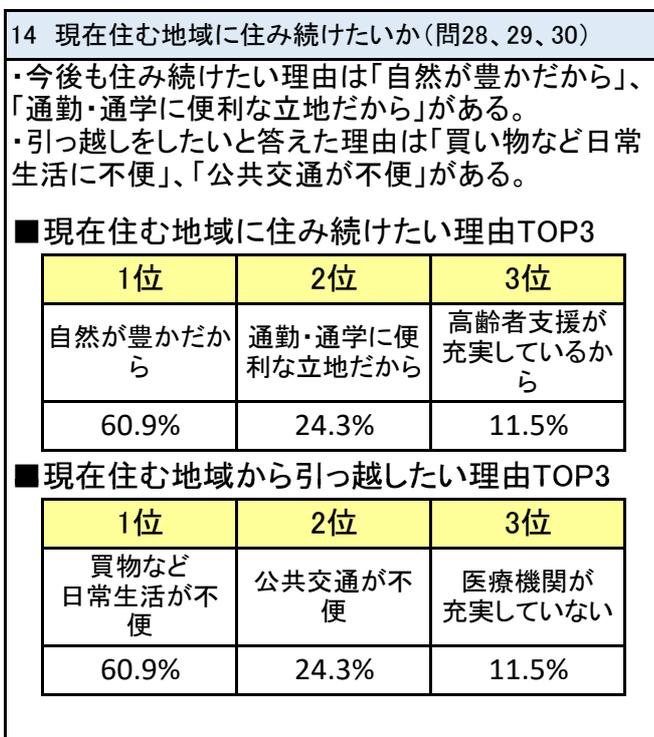
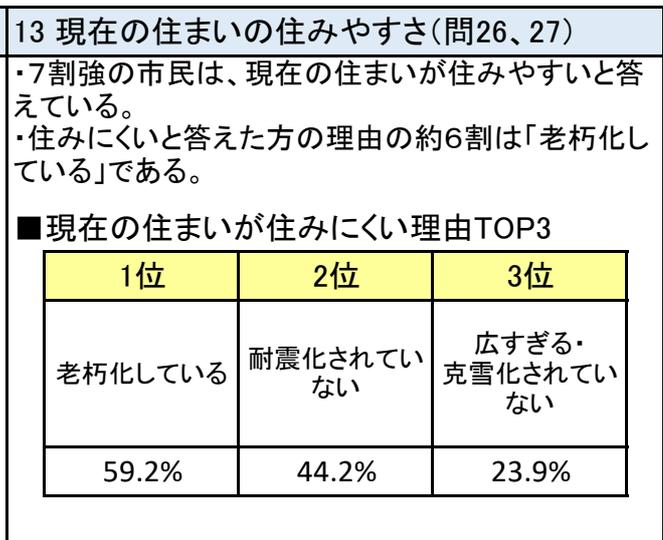
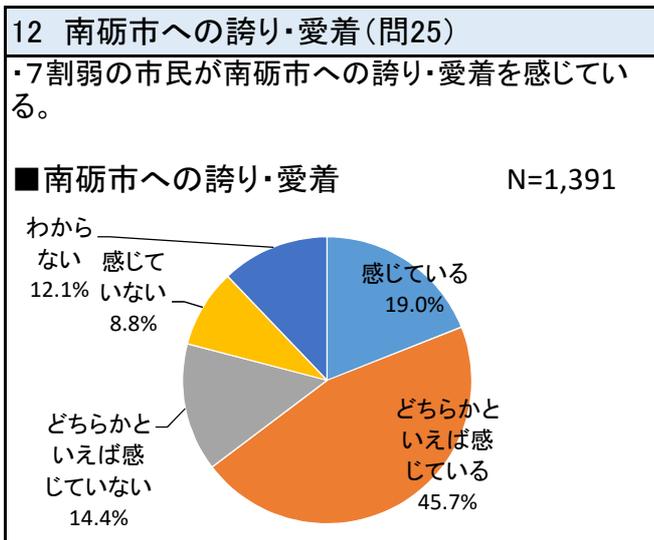
### 11 冬季のイベント(問24)

・9割弱の市民が過去1年に雪を活用したイベントへ参加していない。  
 ・利賀地域の方は5割、平地域の方は4割が冬季のイベントに参加している。

■過去1年の冬季のイベントへの参加状況

N=1,394

回答	割合
はい	14.2%
いいえ	85.8%



18 子ども・子育て(問37、38)

・就労しながら無理なく子育てできる理由としては、「保育サービスの充実」、「子どもを預ける場の充実」、「医療費助成の充実」がある。  
 ・反対に就労しながら無理なく子育てできない理由としては、「小児医療の不十分さ」、「子どもを遊ばせる場の少なさ」がある。

■就労しながら無理なく子育てできる理由TOP3

1位	2位	3位
保育サービスが充実	子どもを預ける場が充実	医療費助成が充実
63.6%	60.3%	53.2%

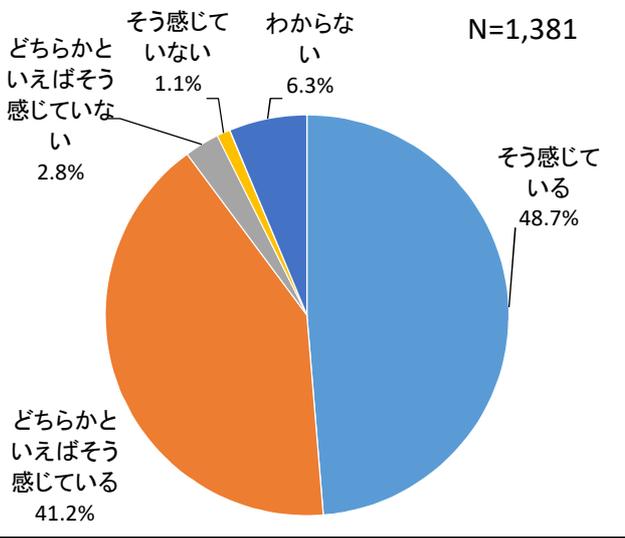
■就労しながら無理なく子育てできない理由TOP3

1位	2位	3位
小児医療体制が不十分	子どもを遊ばせる場が不十分	保育サービスが不十分だから
35.1%	33.6%	22.9%

19 子育てへの喜びや生きがい(問39)

・18歳未満の子どもを持つ家庭の9割が、子育てに喜びや生きがいを感じている。

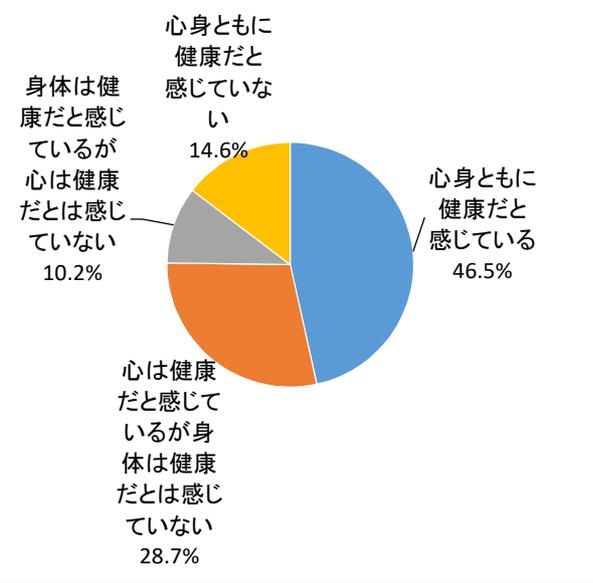
■子育てに喜びや生きがいを感じるか



20 心身の健康(問40)

・約半数の市民は、心身ともに健康であると感じている。

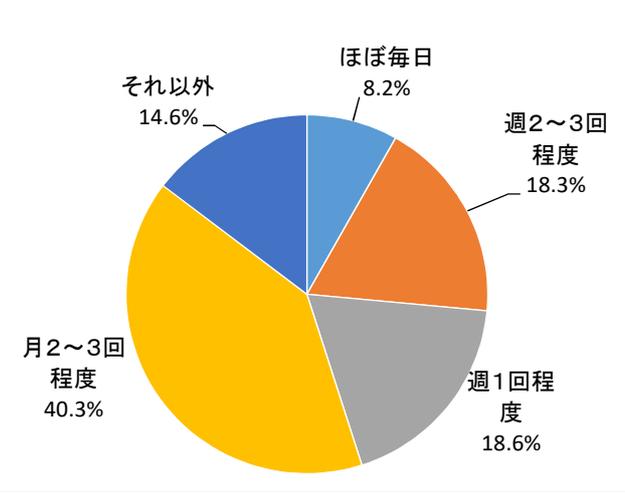
■心身の健康 N=1,315



21 学習活動(問42、43、44)

・3割弱の市民は、日頃から学習活動に取り組んでいる。  
 ・学習活動に取り組んでいる方の活動頻度は、「月2～3回程度」が最も多い。  
 ・3割強の市民は、学んだことを他の人に教えたり、生活に役立てたりしている。

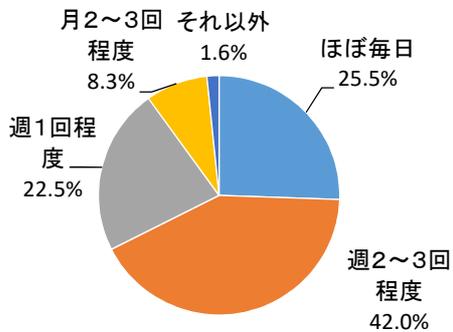
■学習活動の頻度 N=355



22 スポーツ・運動(問46、47)

・約4割の市民は、日頃からスポーツや運動を行っている。  
 ・スポーツや運動を行っている方の活動頻度は、「週に2~3回程度」が最も多い。

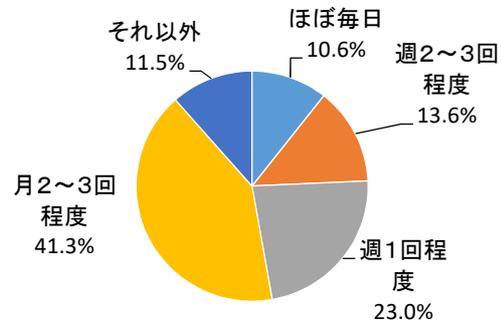
■スポーツ・運動の頻度 N=552



23 文化活動(問50、51)

・8割強の市民は、積極的に文化活動を行っていない。  
 ・文化活動を行っている方の活動頻度は、「月2~3回程度」が最も多い。

■文化活動の頻度 N=235



24 買い物(問51、52)

・3割の市民は、地場産の食材を意識して購入している。  
 ・食料品、日用雑貨などの購入頻度が高い物は、南砺市内で購入している方が多い。  
 ・衣料品、電化製品、趣味に関するものなどは、「砺波市」、「高岡市」、「インターネット」で購入する方も多い。

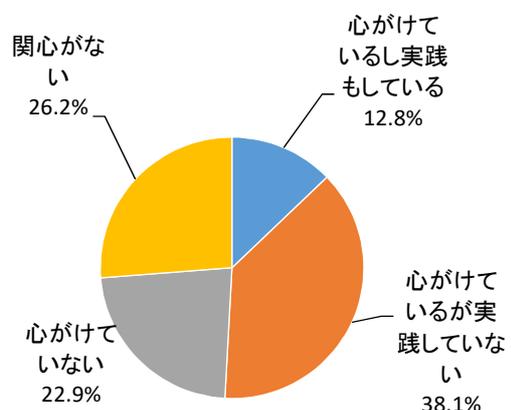
■市民が買い物をする行き先TOP3

	1位	2位	3位
食料品	南砺市内	砺波市	金沢市
	87.5%	48.8%	3.2%
日用雑貨	南砺市内	砺波市	高岡市
	73.2%	56.0%	6.1%
衣料品	砺波市	南砺市内	高岡市
	61.1%	32.7%	19.6%
電化製品	砺波市	南砺市内	インターネット
	76.2%	30.7%	12.1%
趣味に関するもの	砺波市	インターネット	南砺市内
	46.0%	26.2%	22.0%

25 観光・おもてなし(問55)

・観光などで来訪された方に対し、おもてなしを心がけ、実践もしている市民は1割強である。

■おもてなしの心がけ・実践



<p>26 協働のまちづくり(問54、55、56、57)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働のまちづくりについては、「自治振興会、自治会、町内会等の地域の団体が主体で実施するまちづくり事業」に取り組んでいる人が最も多い。</li> <li>・9割強の世帯が、自治会・町内会に加入しており、7割強の市民は過去1年間に自治会・町内会行事に参加している。</li> <li>・自治会・町内会に加入していない方の理由には、「自治会町内会活動に興味がない」「時間がない」「ほとんど自宅にいない」、がある。</li> </ul>	<p>27 ボランティア活動(問58、59、60)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4割強の市民は、過去1年間にボランティア活動に参加している。</li> <li>・活動内容は「環境分野のボランティア活動」が7割強と最も多い。</li> <li>・ボランティア活動に参加していない方の理由には、「どのようなボランティア活動があるかを知らない」、「時間がない」、「ボランティア活動に興味がない」などがある。</li> </ul>
---	---

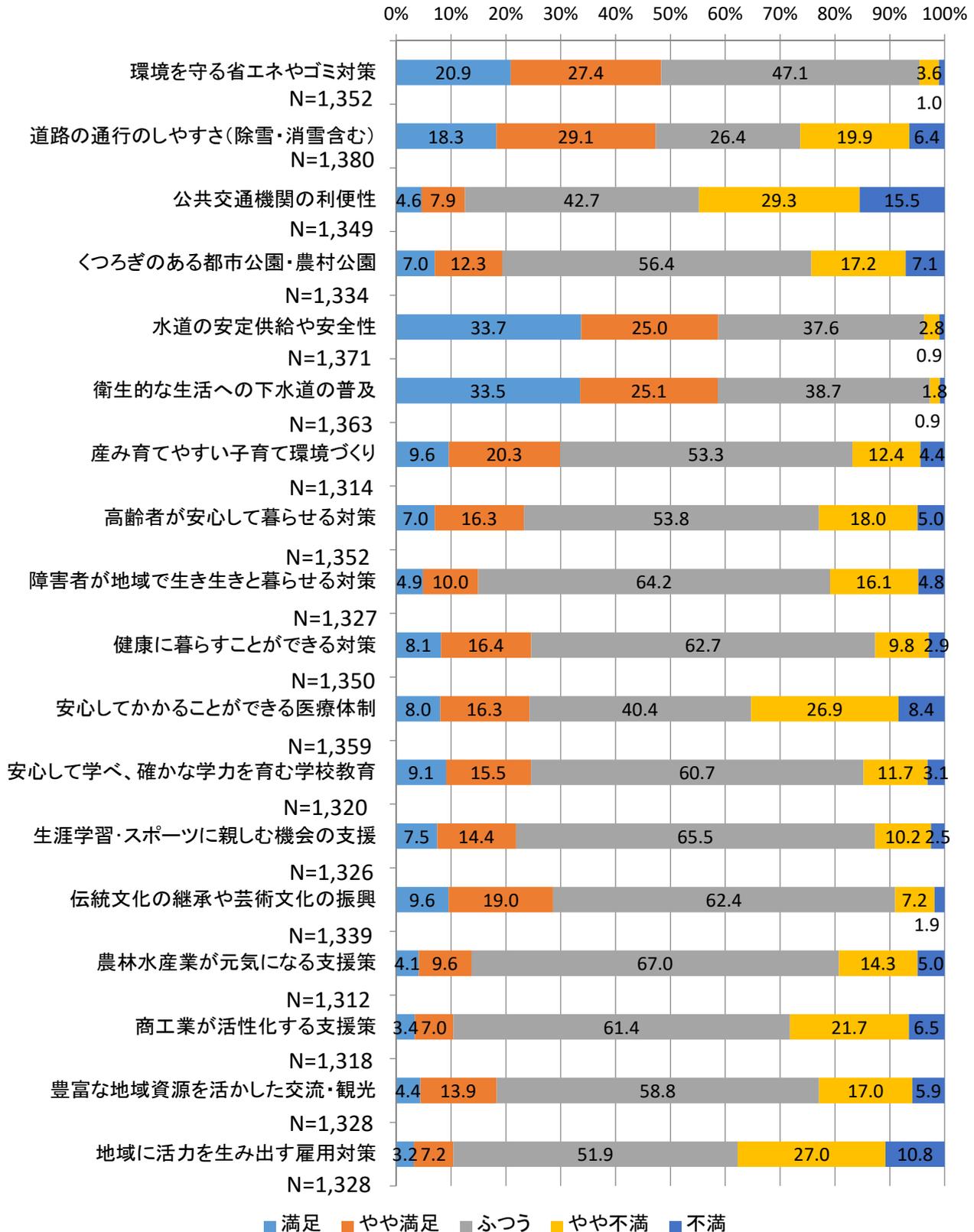
<p>28 男女共同参画(問61)</p> <p>・男女共同参画について、知っているし関心もある方は2割弱である。</p> <p>■ 男女共同参画の認知・関心 N=1,353</p> <table border="1"> <caption>男女共同参画の認知・関心</caption> <thead> <tr> <th>認知・関心</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知っているし関心もある</td> <td>18.4%</td> </tr> <tr> <td>知っているが関心はない</td> <td>51.9%</td> </tr> <tr> <td>知らなかったが関心がある</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>知らなかったし関心もない</td> <td>23.4%</td> </tr> </tbody> </table>	認知・関心	割合	知っているし関心もある	18.4%	知っているが関心はない	51.9%	知らなかったが関心がある	6.4%	知らなかったし関心もない	23.4%	<p>29 マイナンバーカード(問62、63)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7割の市民は、住民基本台帳カードからマイナンバーカードに切り替わったことを知っている。</li> <li>・マイナンバーカードに求める機能として、「行政窓口での各種手続きの簡素化」、「健康・医療・子育てに関する分野」での活用を求める意見が多い。</li> </ul>
認知・関心	割合										
知っているし関心もある	18.4%										
知っているが関心はない	51.9%										
知らなかったが関心がある	6.4%										
知らなかったし関心もない	23.4%										

<p>30 情報通信機器(問64)</p> <p>・8割強の市民がパソコン、スマートフォン、タブレットを利用しインターネットを利用している。</p> <p>■ インターネット(スマートフォン・タブレット)の利用 N=1,232</p> <table border="1"> <caption>インターネット(スマートフォン・タブレット)の利用</caption> <thead> <tr> <th>利用状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用している</td> <td>71.6%</td> </tr> <tr> <td>利用していない</td> <td>28.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ インターネット(パソコン)の利用 N=1,225</p> <table border="1"> <caption>インターネット(パソコン)の利用</caption> <thead> <tr> <th>利用状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用している</td> <td>63.2%</td> </tr> <tr> <td>利用していない</td> <td>36.8%</td> </tr> </tbody> </table>	利用状況	割合	利用している	71.6%	利用していない	28.4%	利用状況	割合	利用している	63.2%	利用していない	36.8%	<p>31 行政サービス(問65、66)</p> <p>・南砺市の行政サービスの水準については、4割強の市民が適正であると思っている。</p> <p>・適正でないと思う理由には、「手続き・対応に時間がかかる」、「窓口等での接遇が悪い」などがある。</p> <p>■ 行政サービス水準の適正 N=1,356</p> <table border="1"> <caption>行政サービス水準の適正</caption> <thead> <tr> <th>意見</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どちらかと言えばそう思う</td> <td>35.5%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>34.4%</td> </tr> <tr> <td>どちらかと言えばそう思わない</td> <td>12.8%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>10.3%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>7.0%</td> </tr> </tbody> </table>	意見	割合	どちらかと言えばそう思う	35.5%	わからない	34.4%	どちらかと言えばそう思わない	12.8%	そう思う	10.3%	そう思わない	7.0%
利用状況	割合																								
利用している	71.6%																								
利用していない	28.4%																								
利用状況	割合																								
利用している	63.2%																								
利用していない	36.8%																								
意見	割合																								
どちらかと言えばそう思う	35.5%																								
わからない	34.4%																								
どちらかと言えばそう思わない	12.8%																								
そう思う	10.3%																								
そう思わない	7.0%																								

### 32 南砺市の満足度(問69)

- ・南砺市の満足度について、満足度が高いものは「水道の安定供給や安全性」、「衛生的な生活への下水道の普及」などがある。
- ・一方で、満足度が低いものには「地域に活力を生み出す雇用対策」、「商工業が活性化する支援策」などがある。

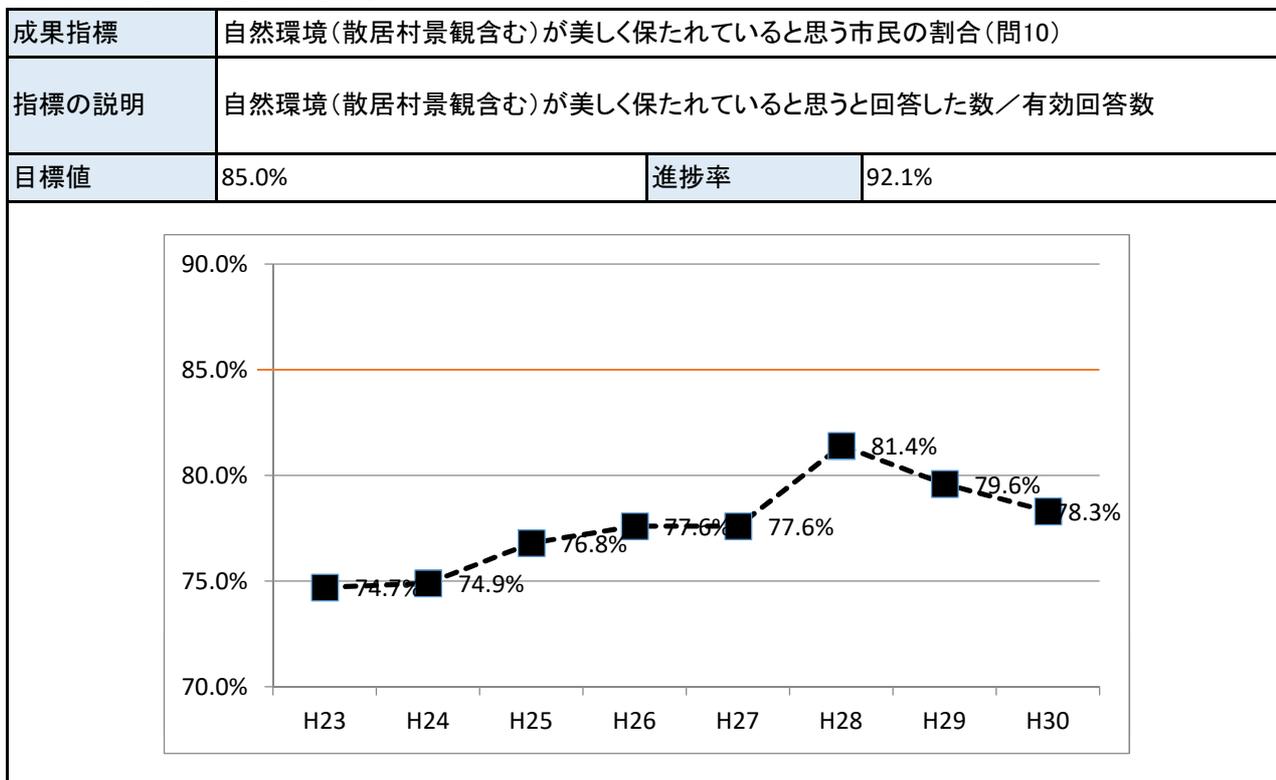
#### ■ 市政への満足度



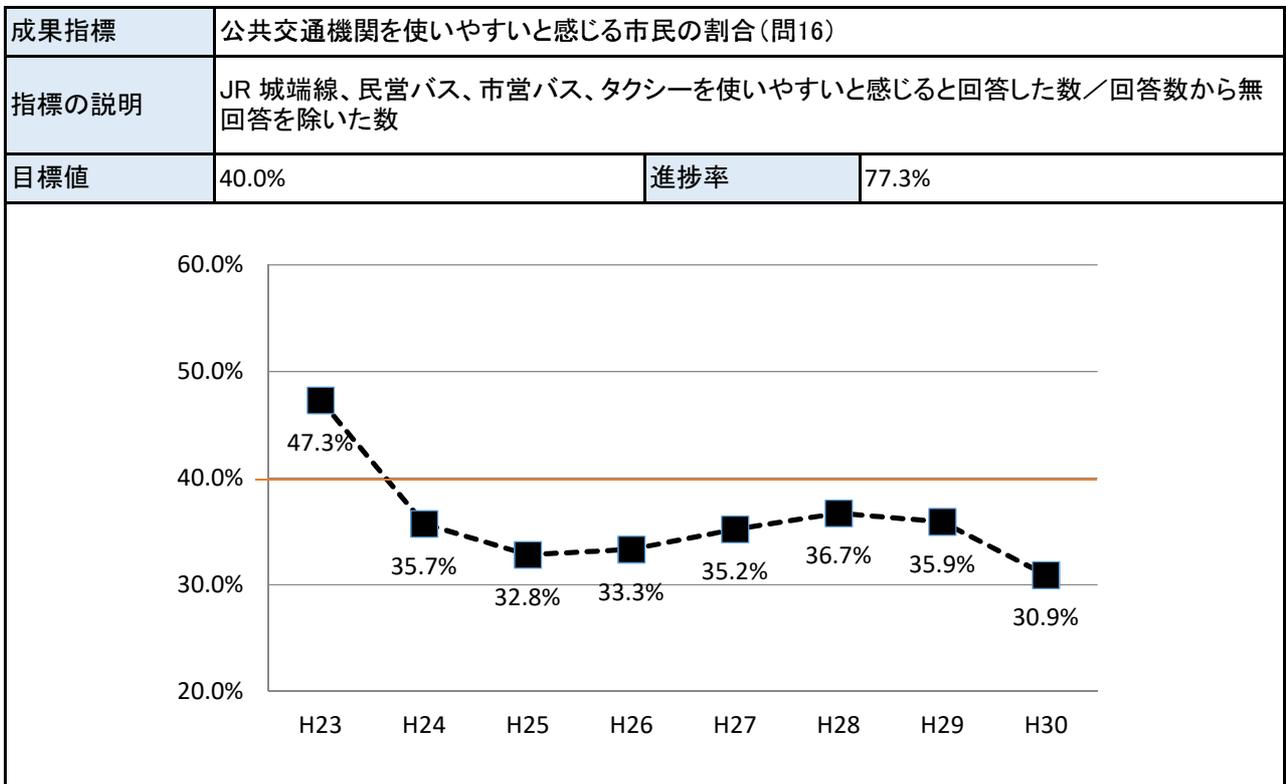
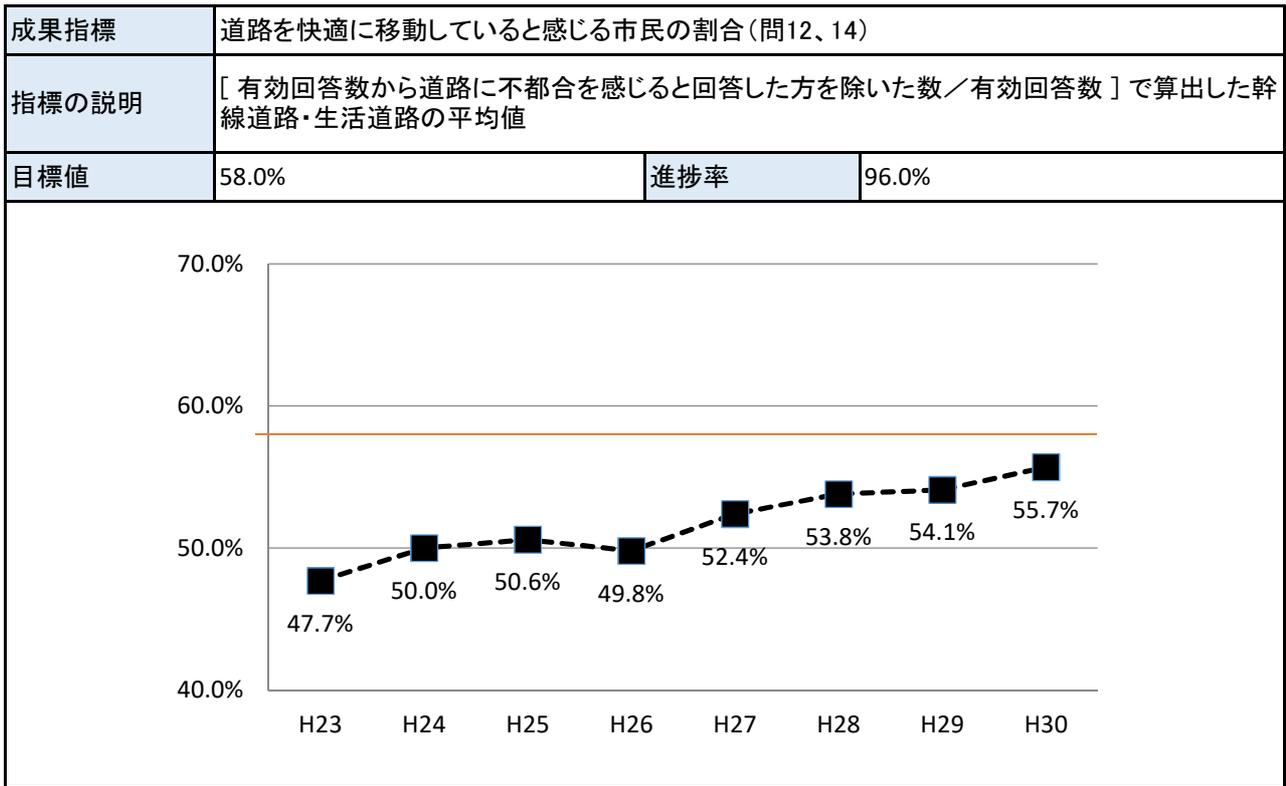
### Ⅲ 平成23年から平成30年までの成果指標の年次推移

南砺市総合計画 後期基本計画 第3章 重点施策の成果指標に本調査から得られる数値を指標としている33項目についての、平成23年から平成29年までの年次推移と目標値に対する現在の進捗率

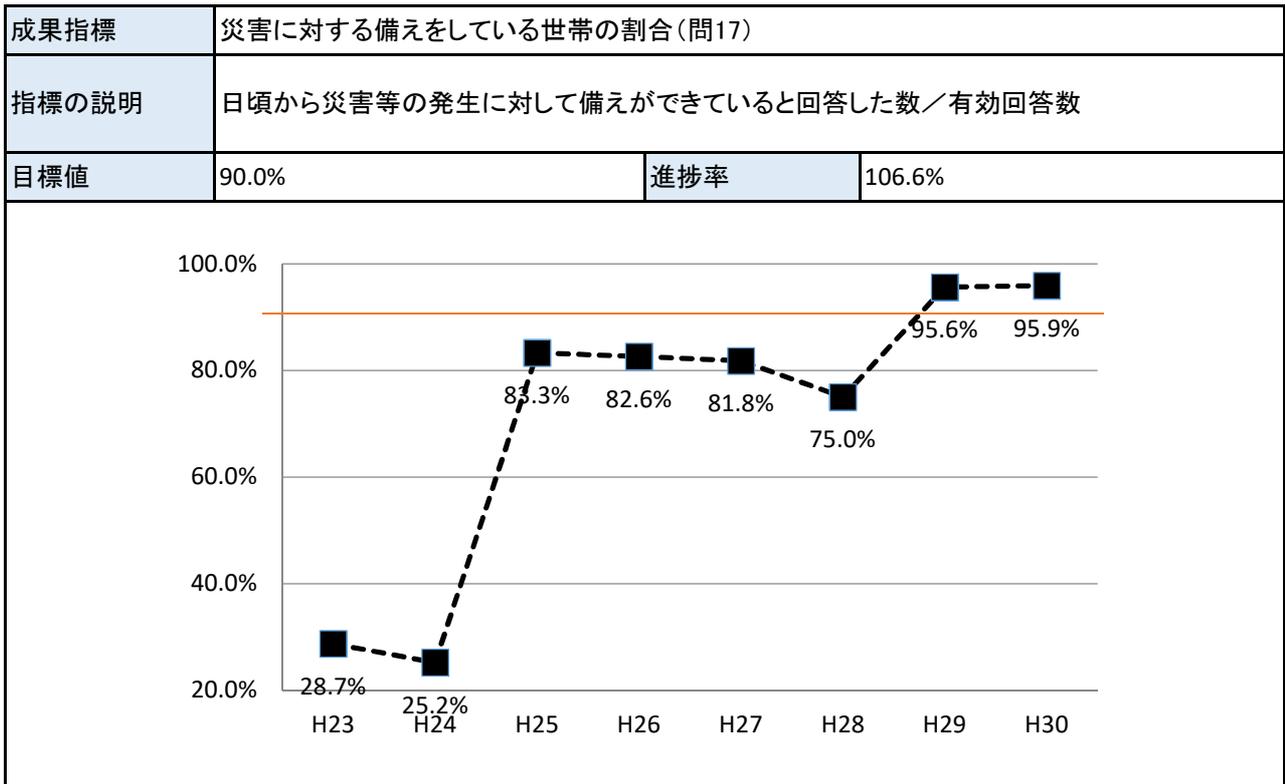
#### (1) 自然環境の保全と活用



(2) 道路網の整備と公共交通環境の充実

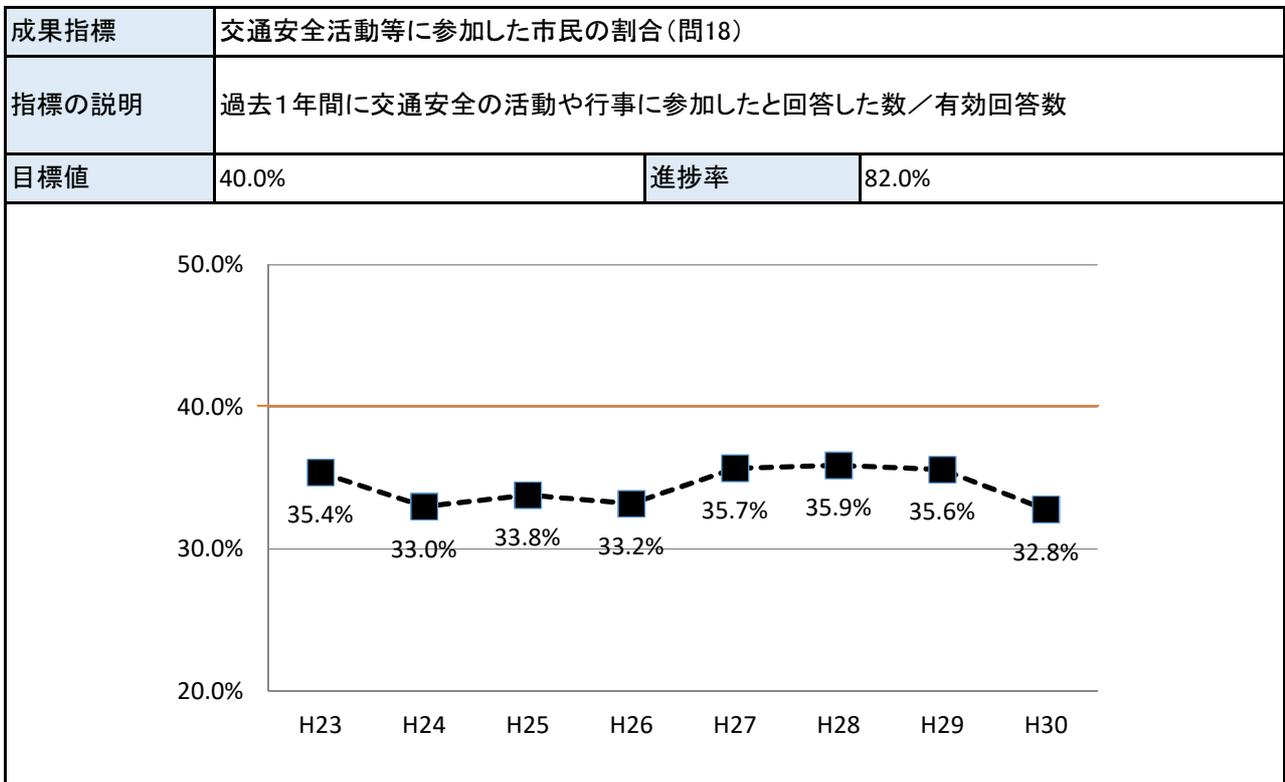


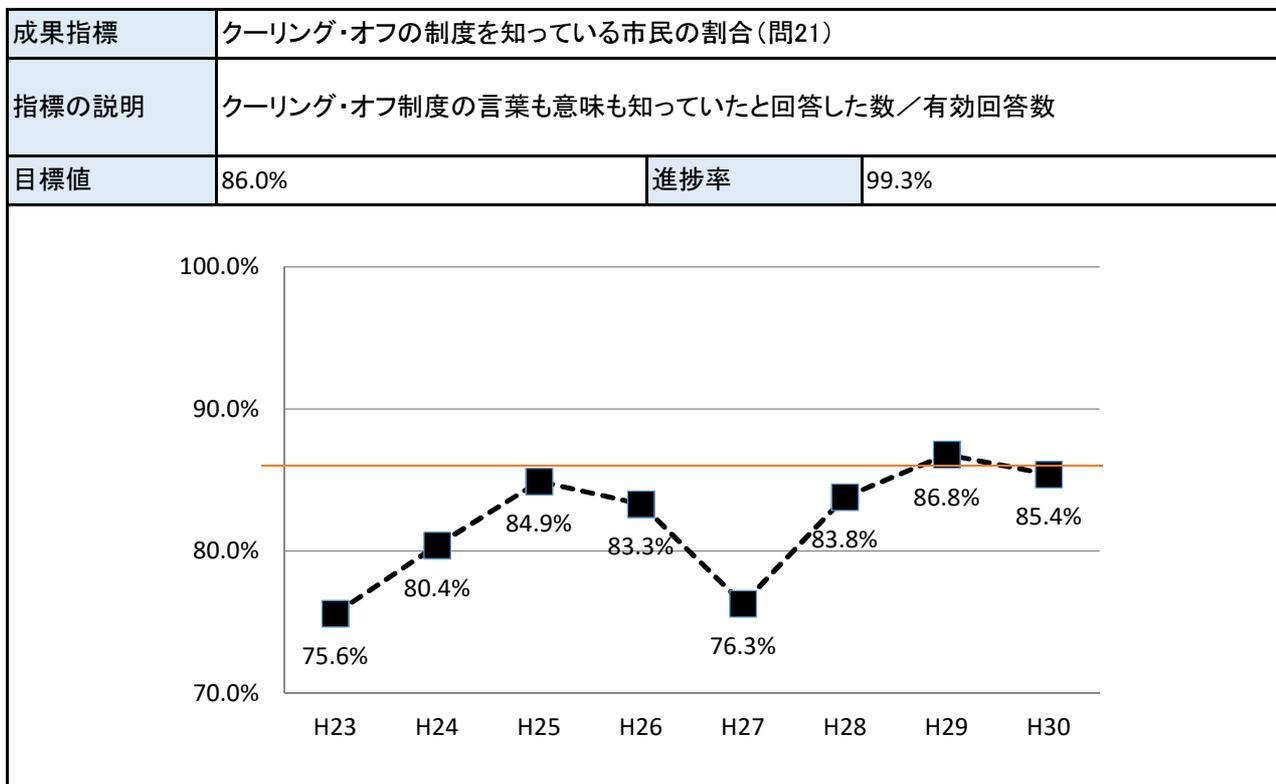
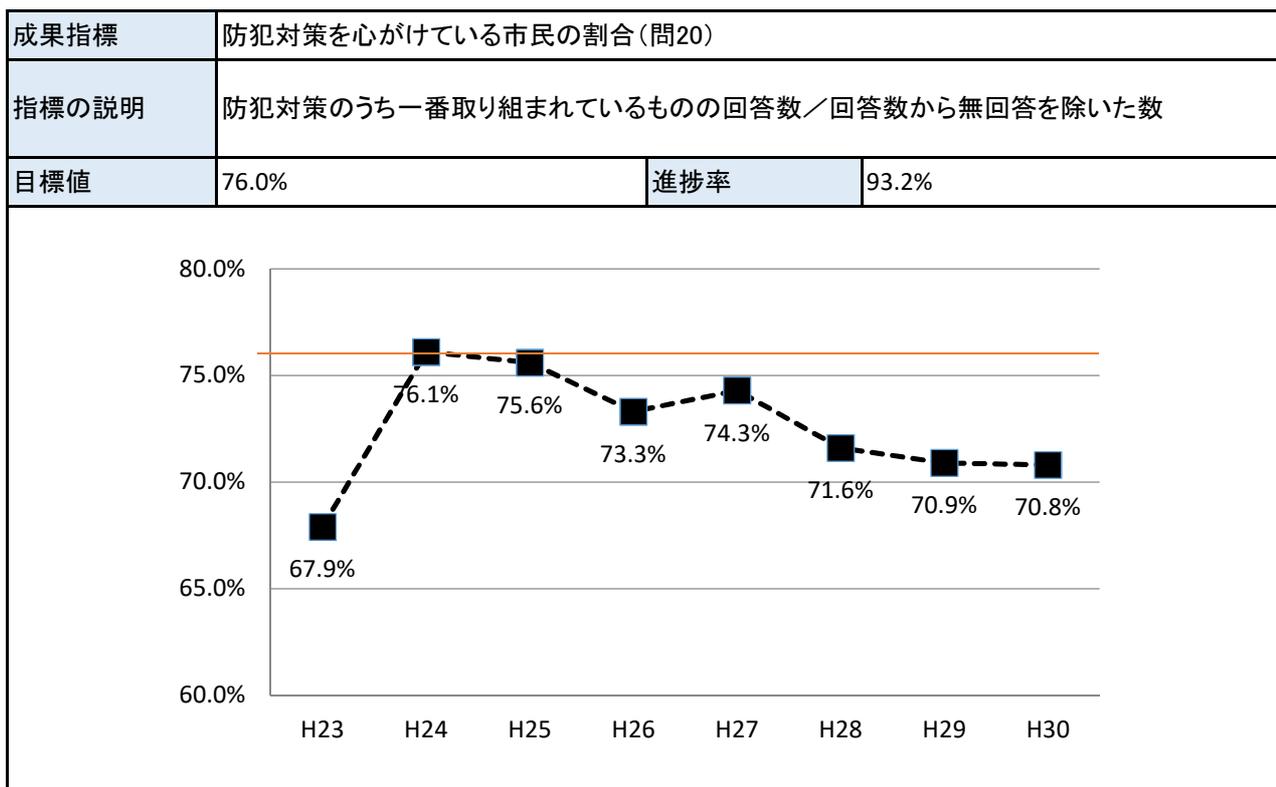
### (3) 消防・防災体制の充実



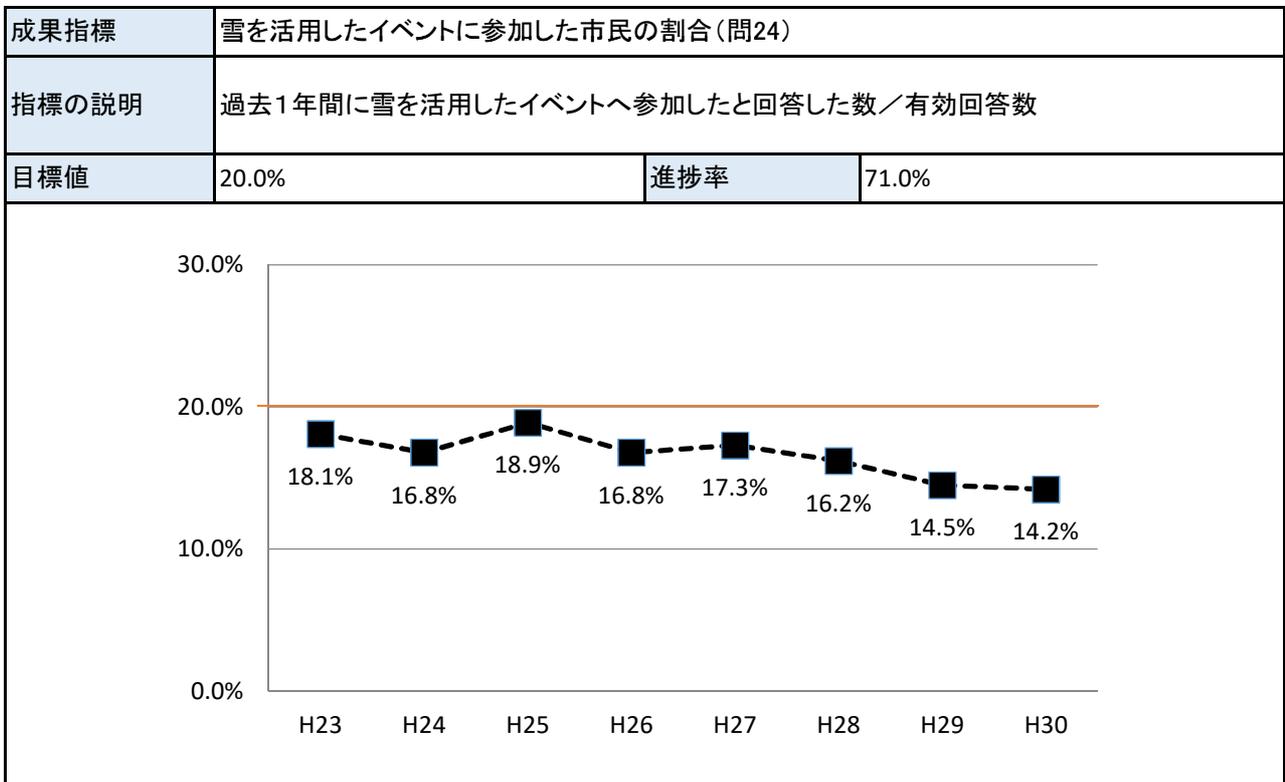
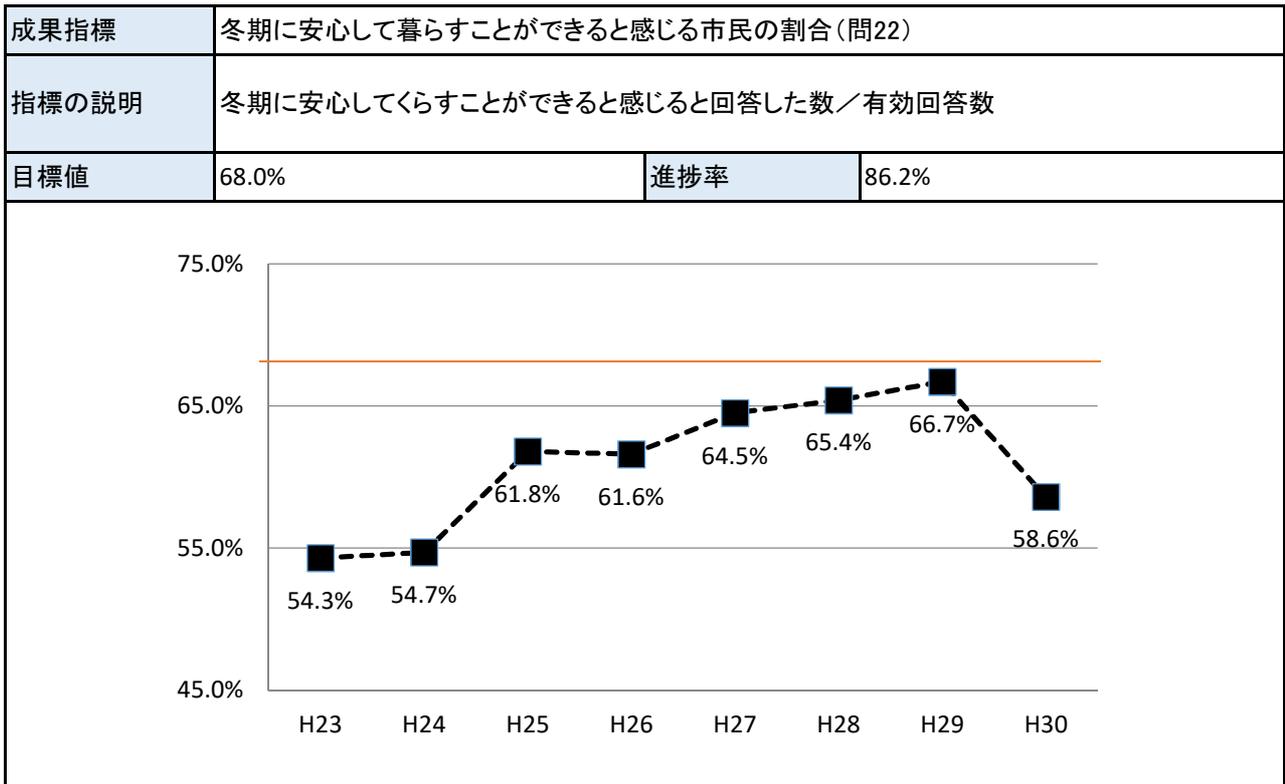
※H23、24年は設問内容に相違点あり。

### (4) 交通安全・防犯対策の推進

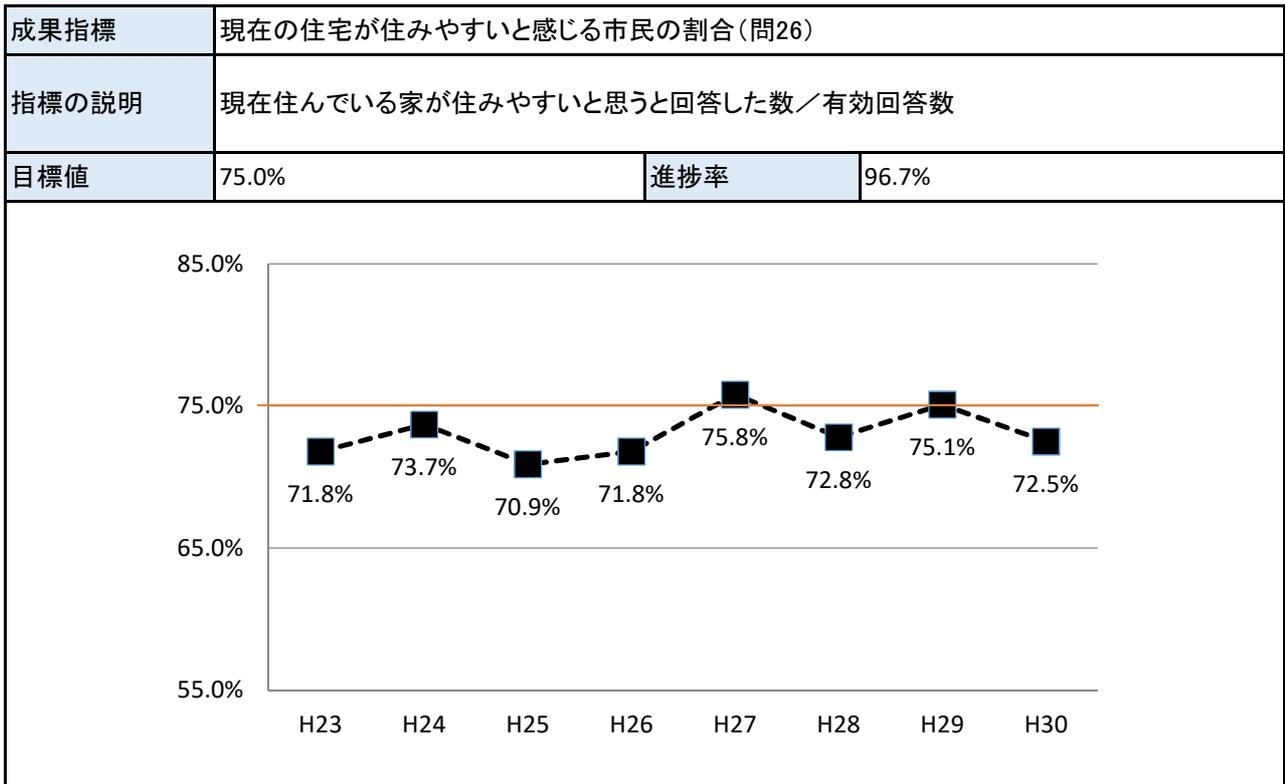




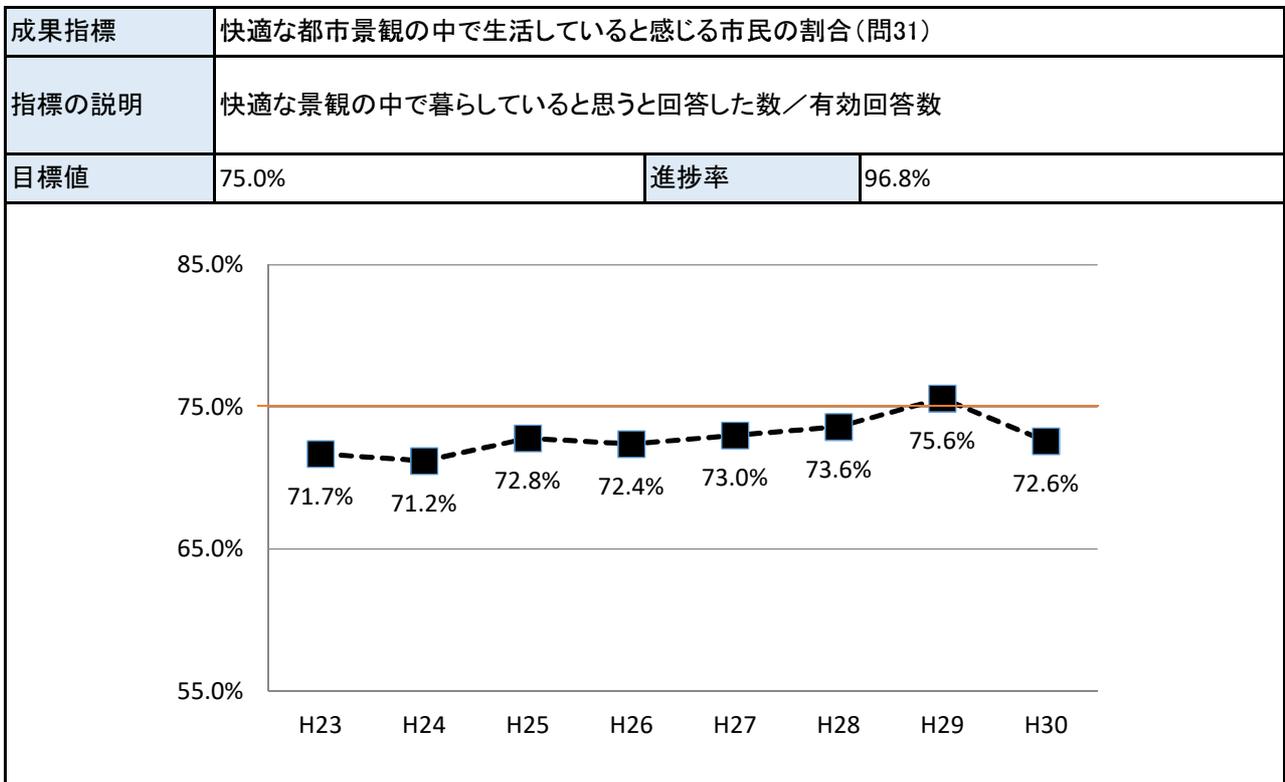
(5) 雪に強いまちづくりの推進

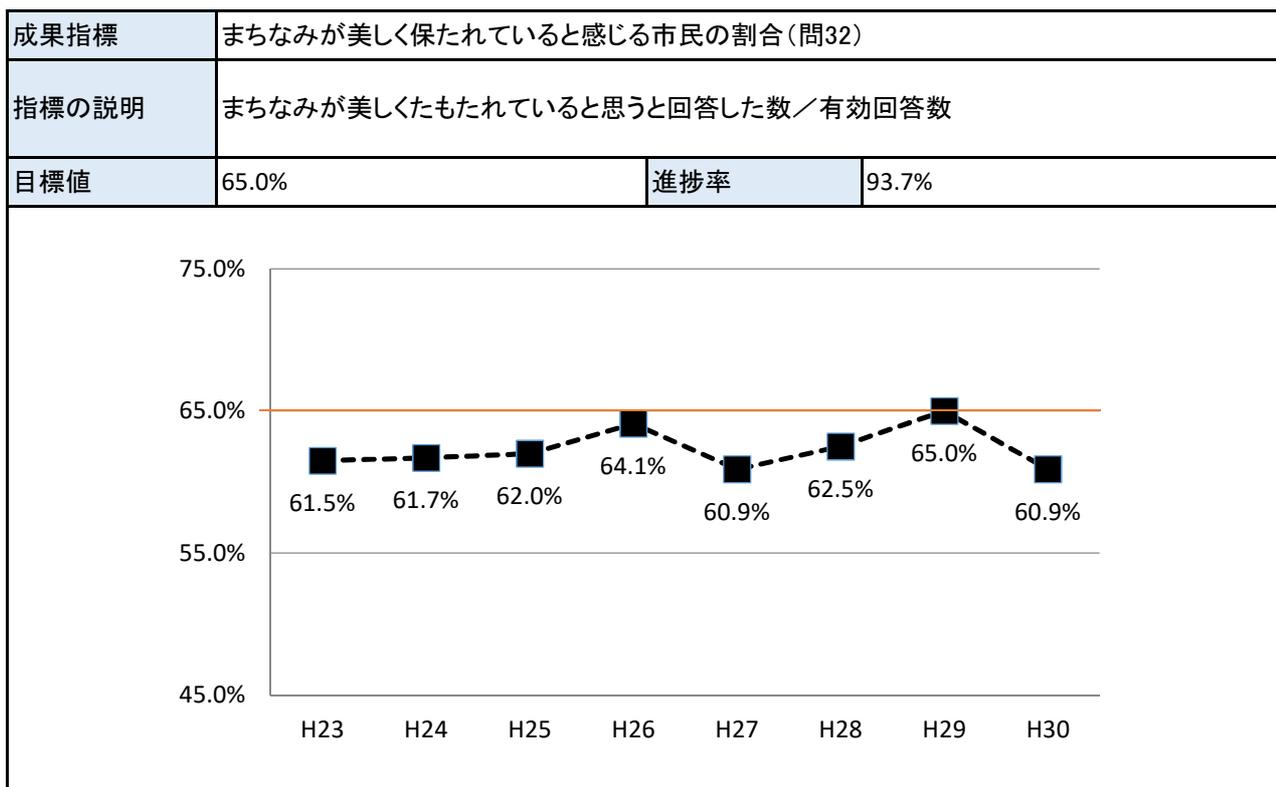


(6) 快適な住環境づくりの推進

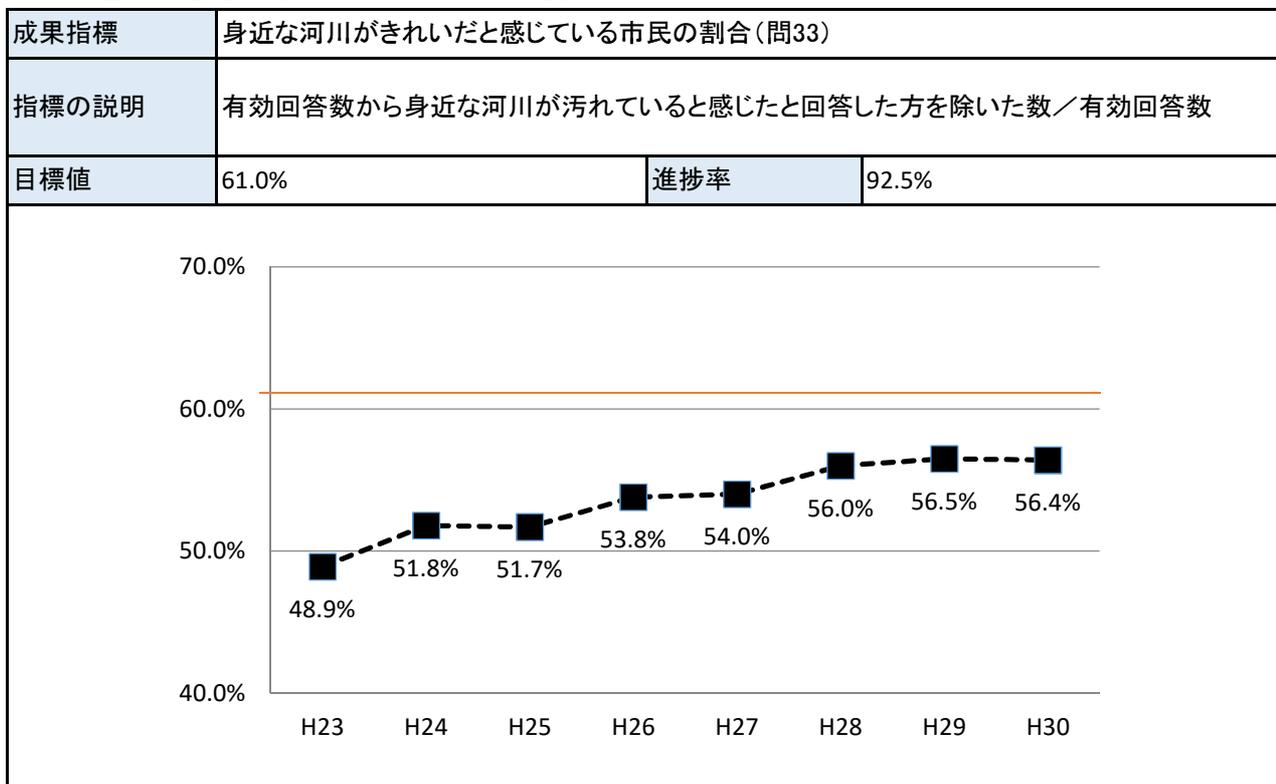


(7) 地域と調和した景観づくりの推進

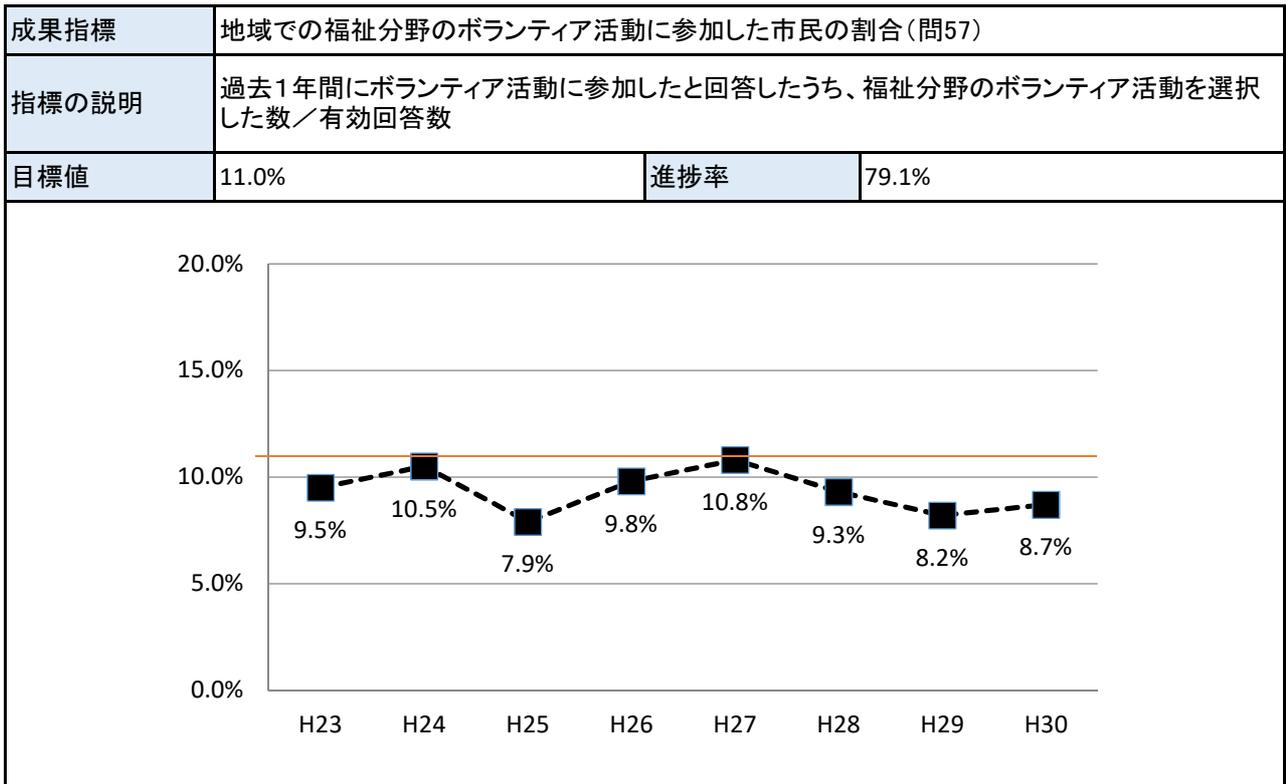




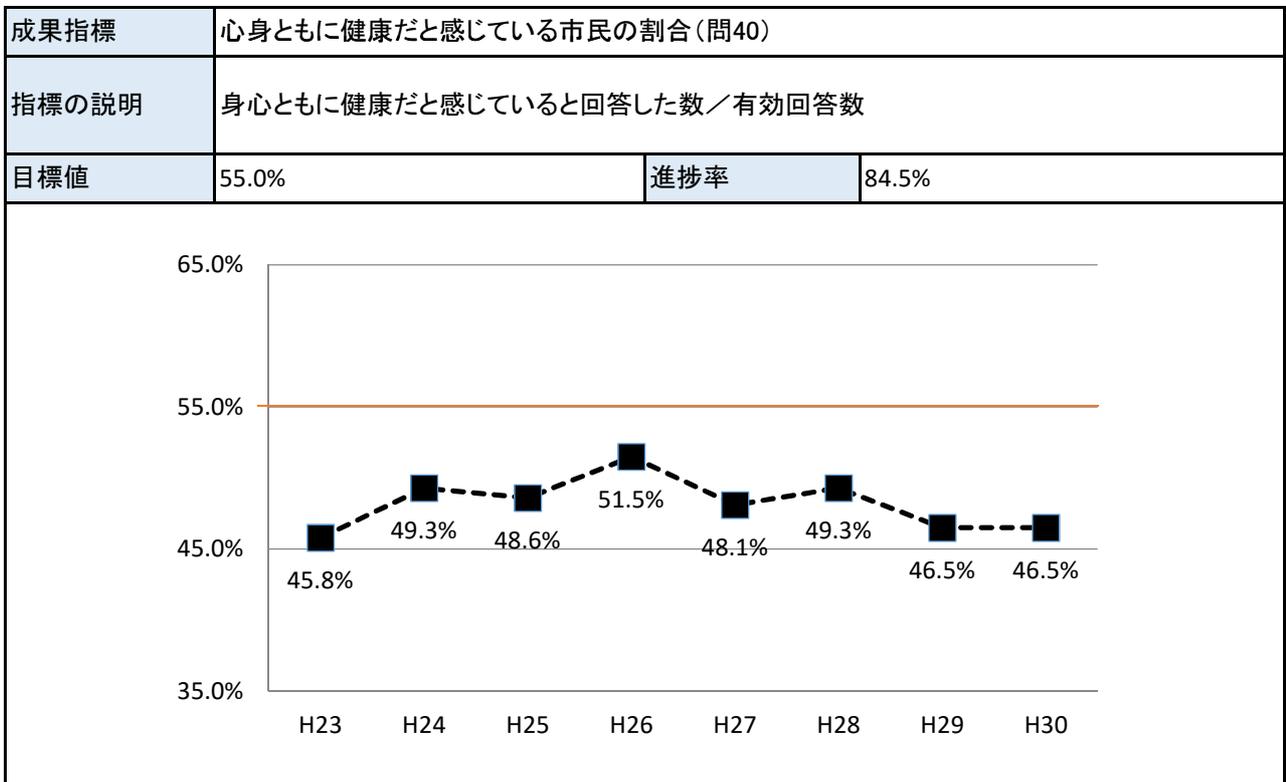
### (8) 安心して暮らせる環境衛生対策の充実



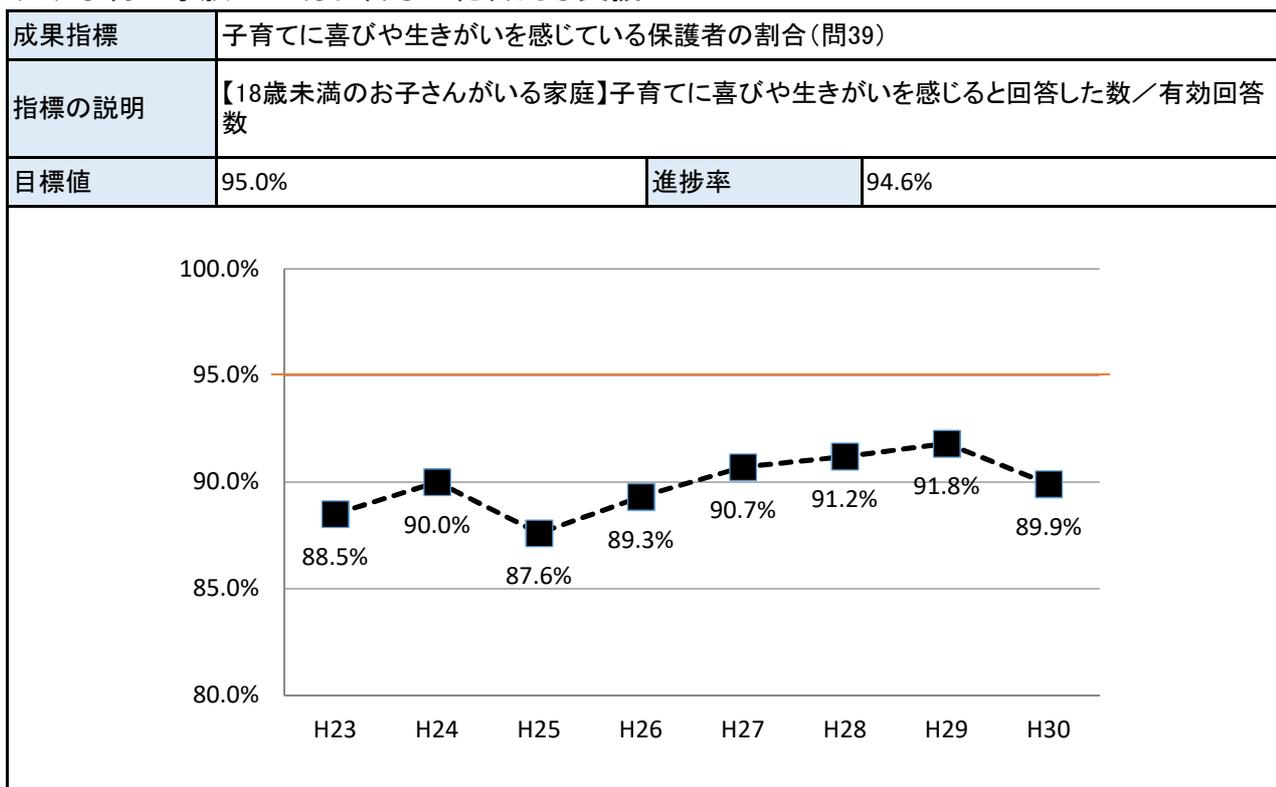
(9) ともに支えあう地域福祉の推進



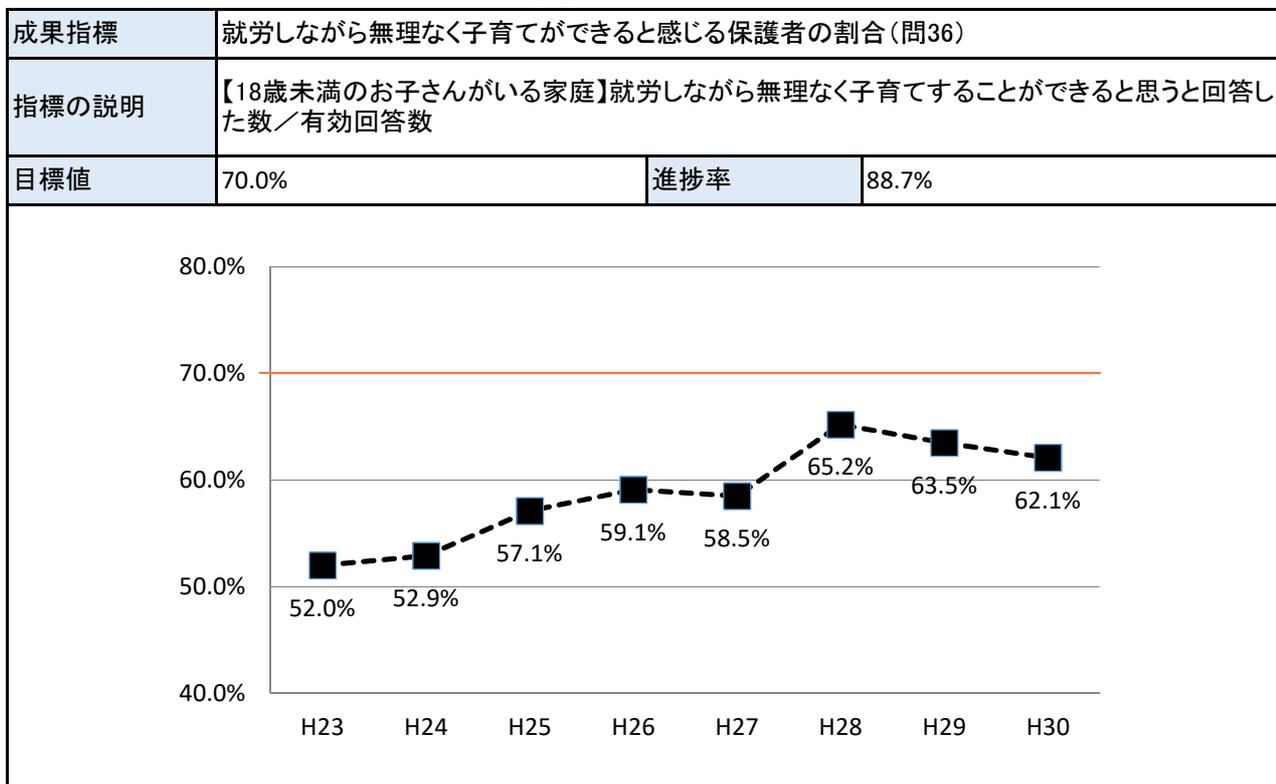
(10) 心身ともに健康づくりの推進



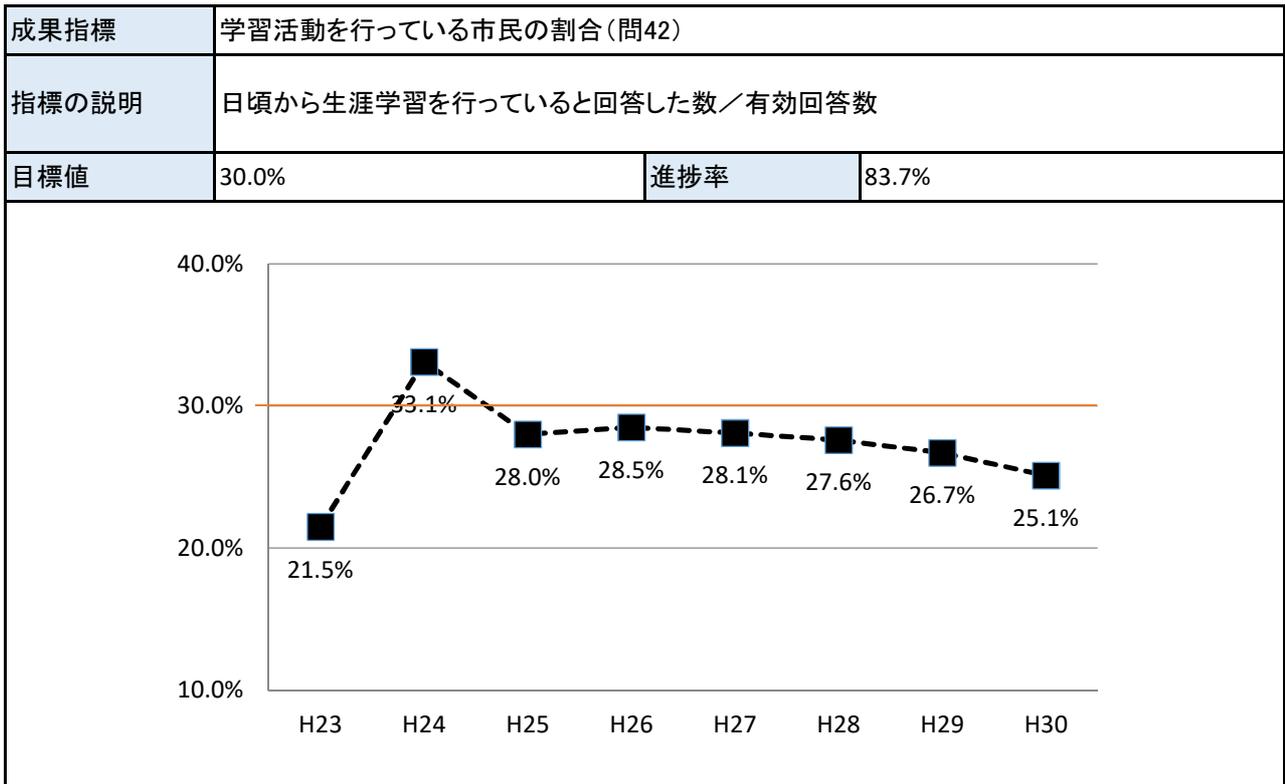
(11) 子育て家族への切れ目ない総合的な支援



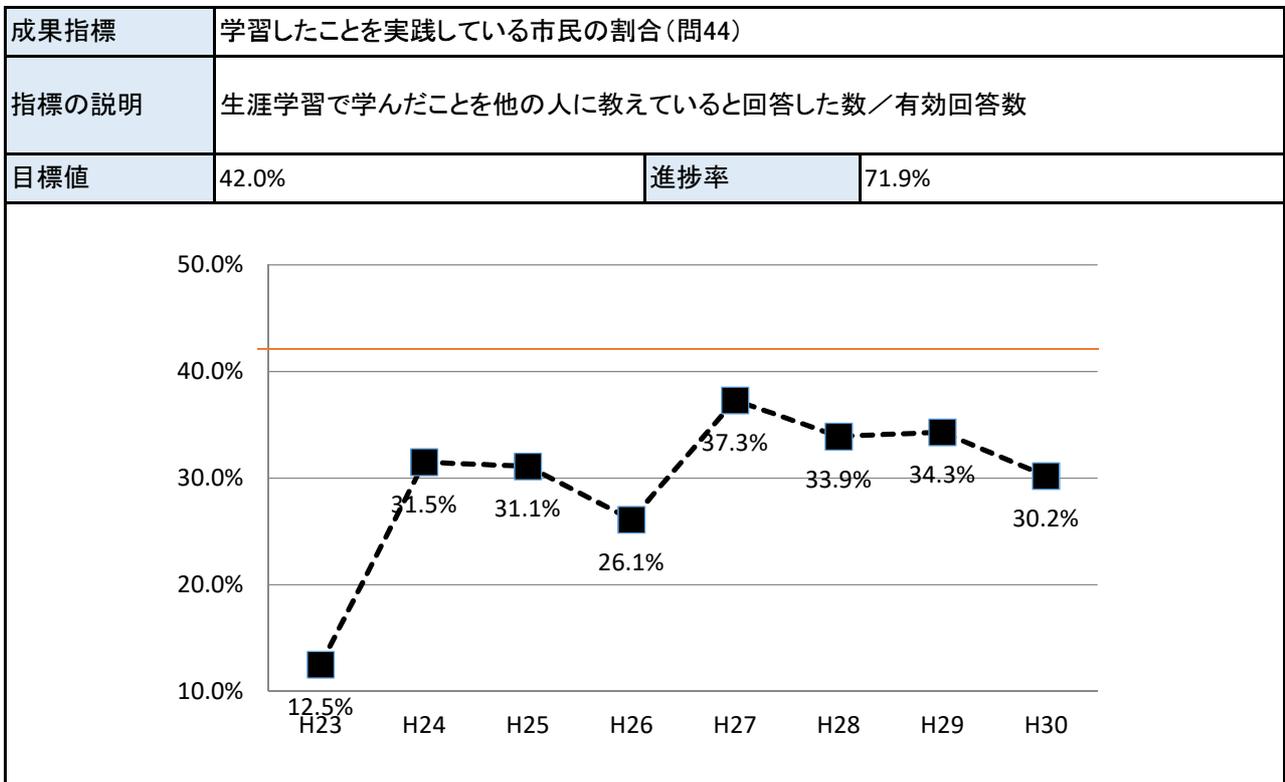
(12) 子どもを育てやすい環境づくりの推進



(13) 生涯にわたり学べる環境づくりの推進

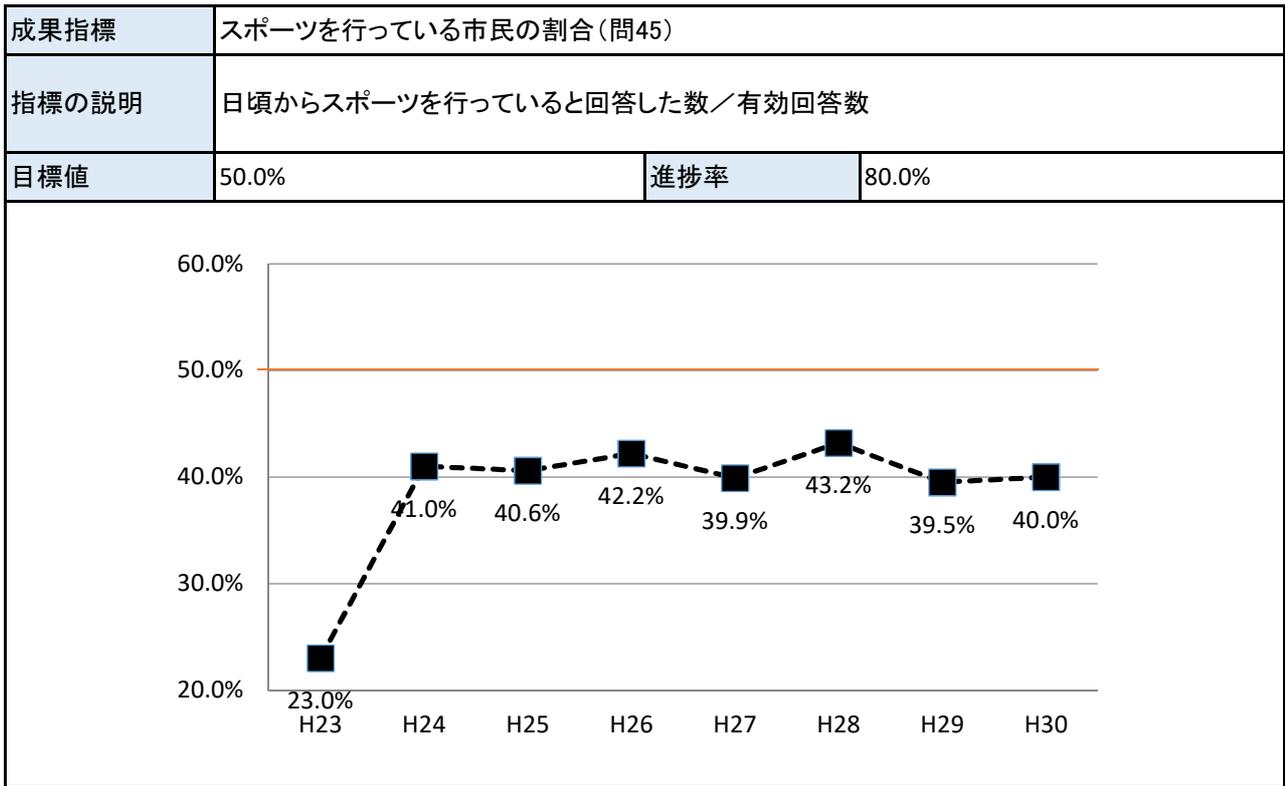


※H24より設問内容に変更点あり。



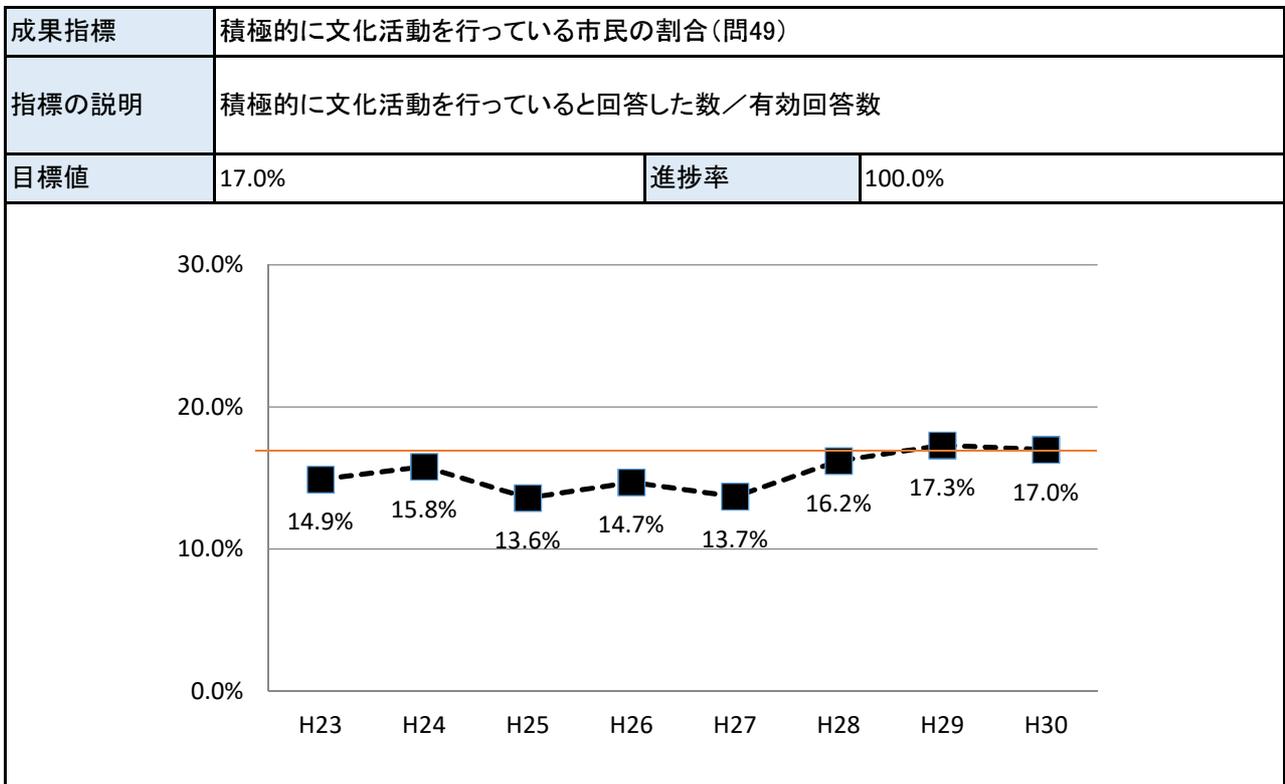
※H24より設問内容に変更点あり。

(14) 生涯にわたりスポーツに親しむ環境づくりの推進

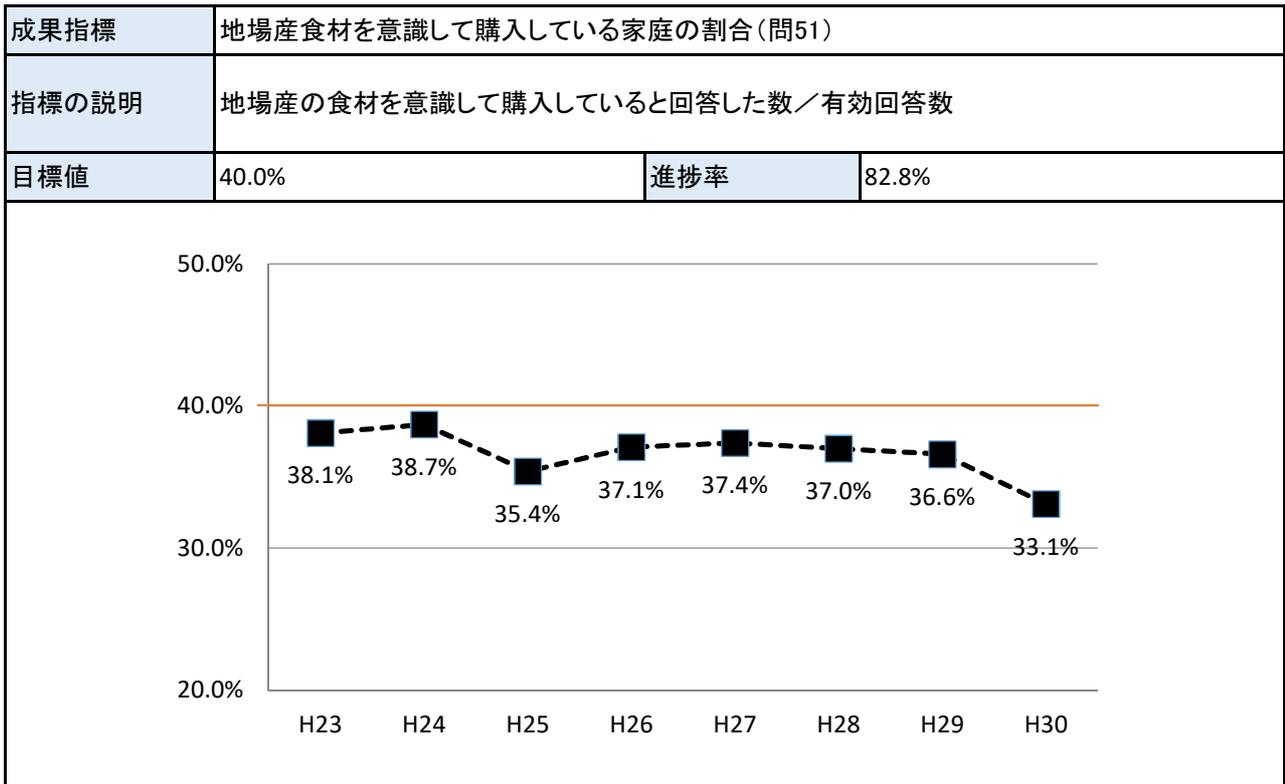


※H24より設問内容に変更点あり。

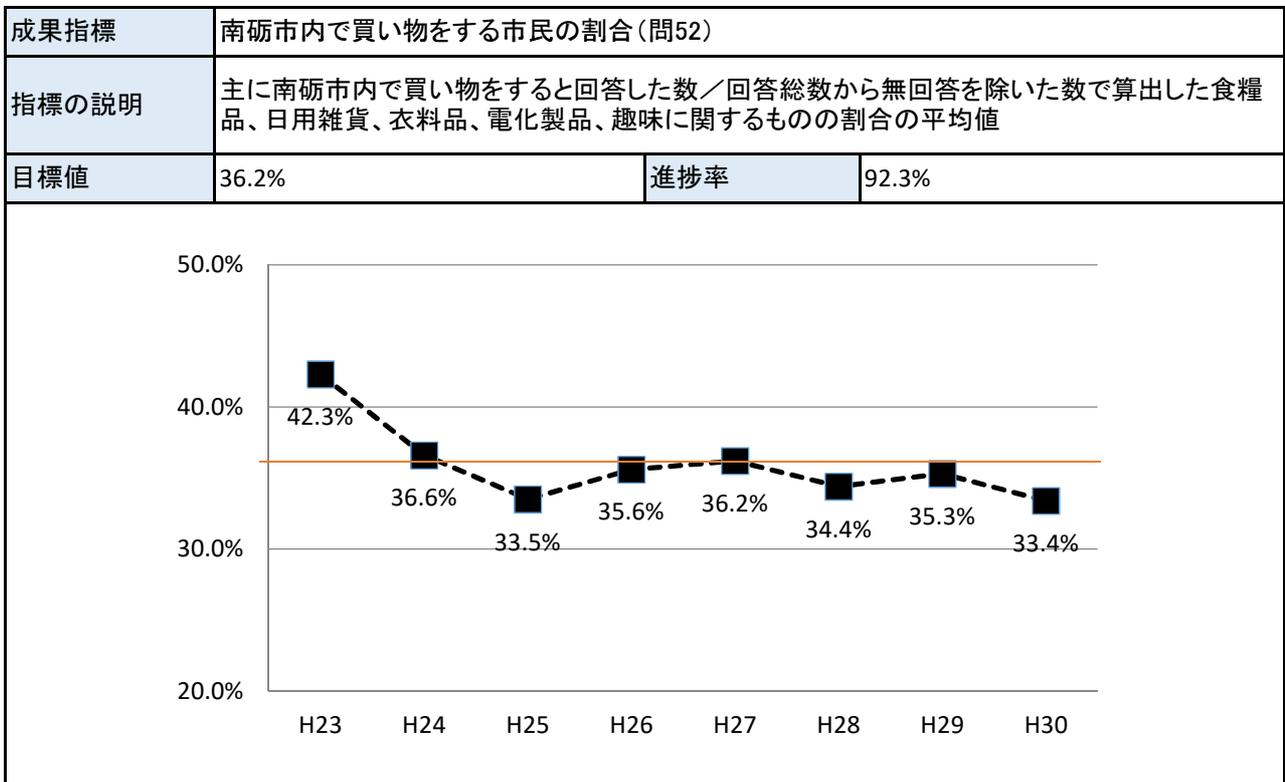
(15) 文化芸術創造都市の振興



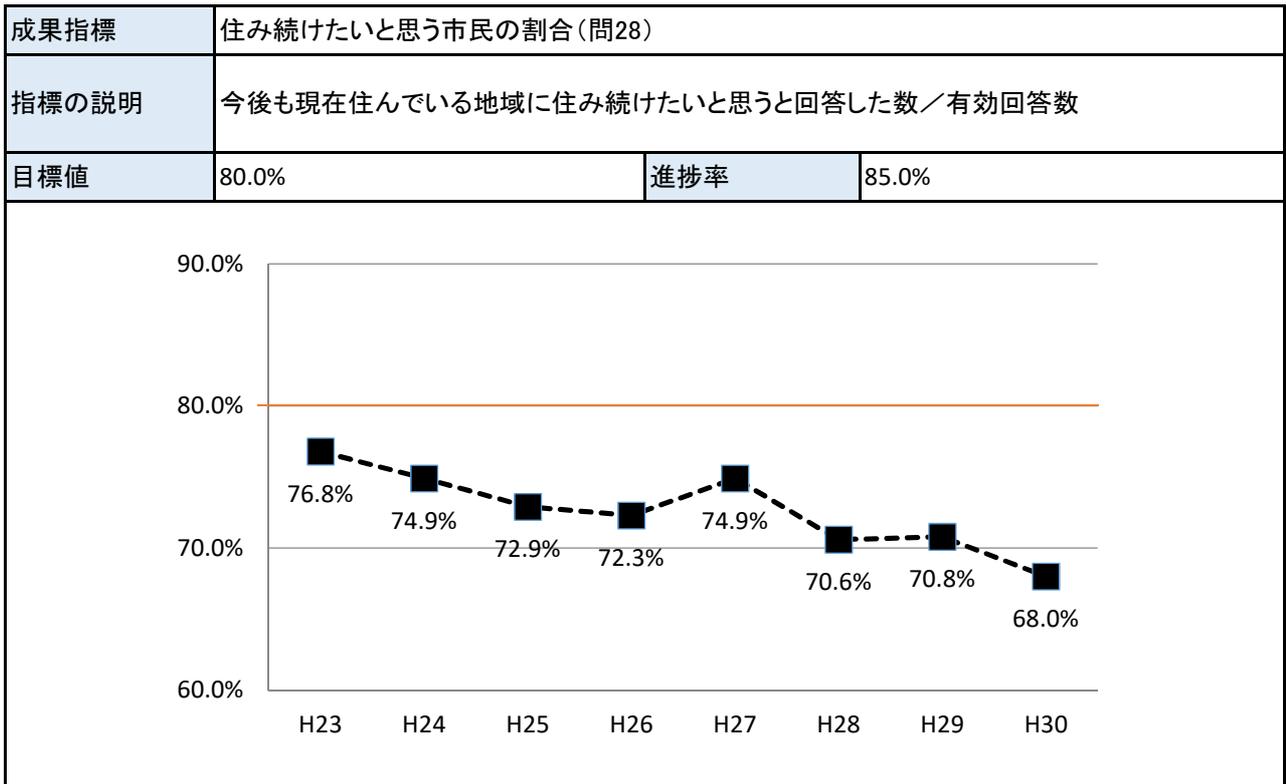
(16) 農業の振興と農村の活性化



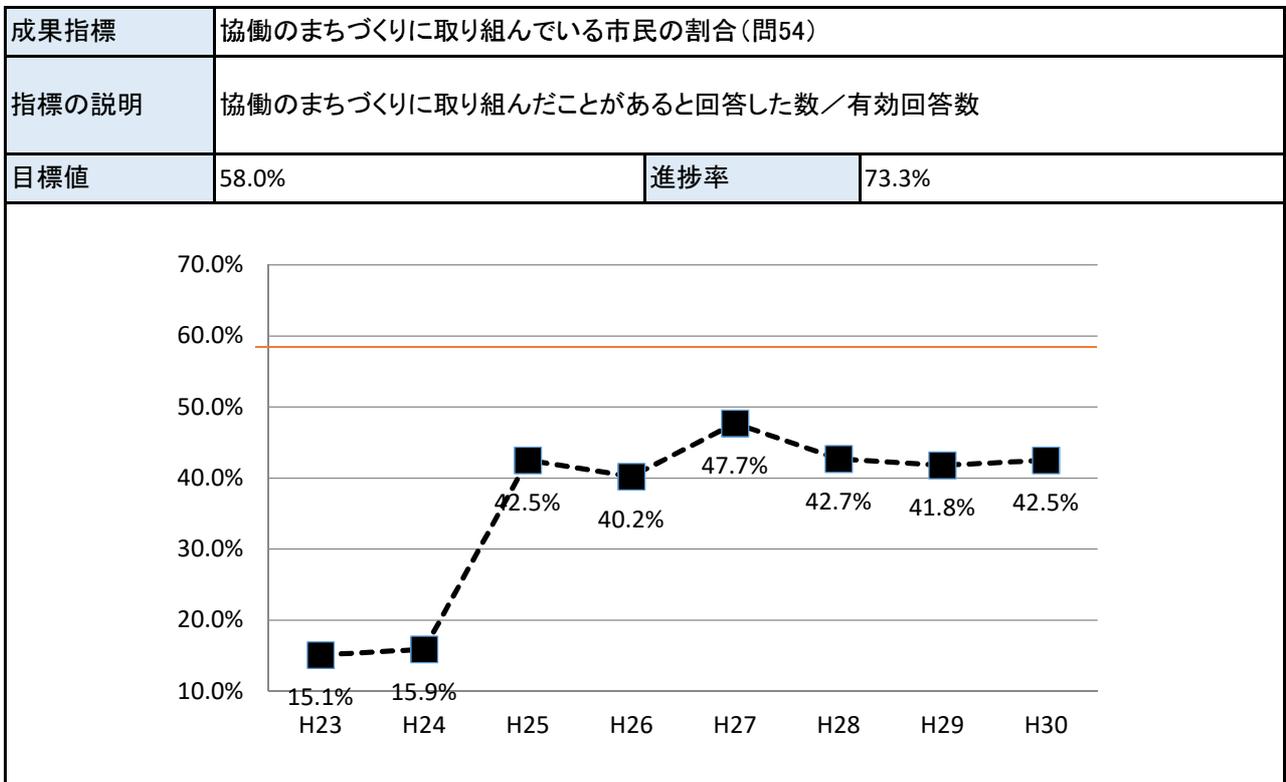
(17) 商業の賑わいづくりと伝統産業の活性化



(18) 移住・定住対策の推進

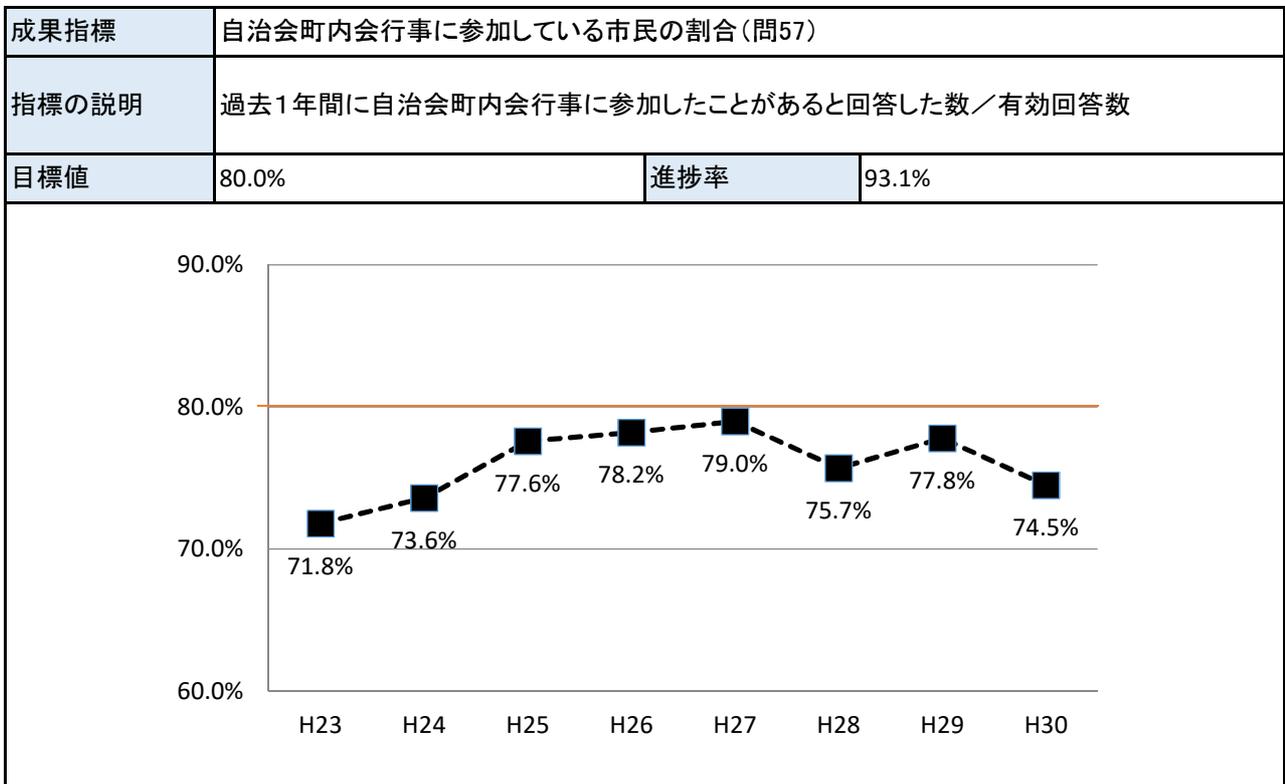
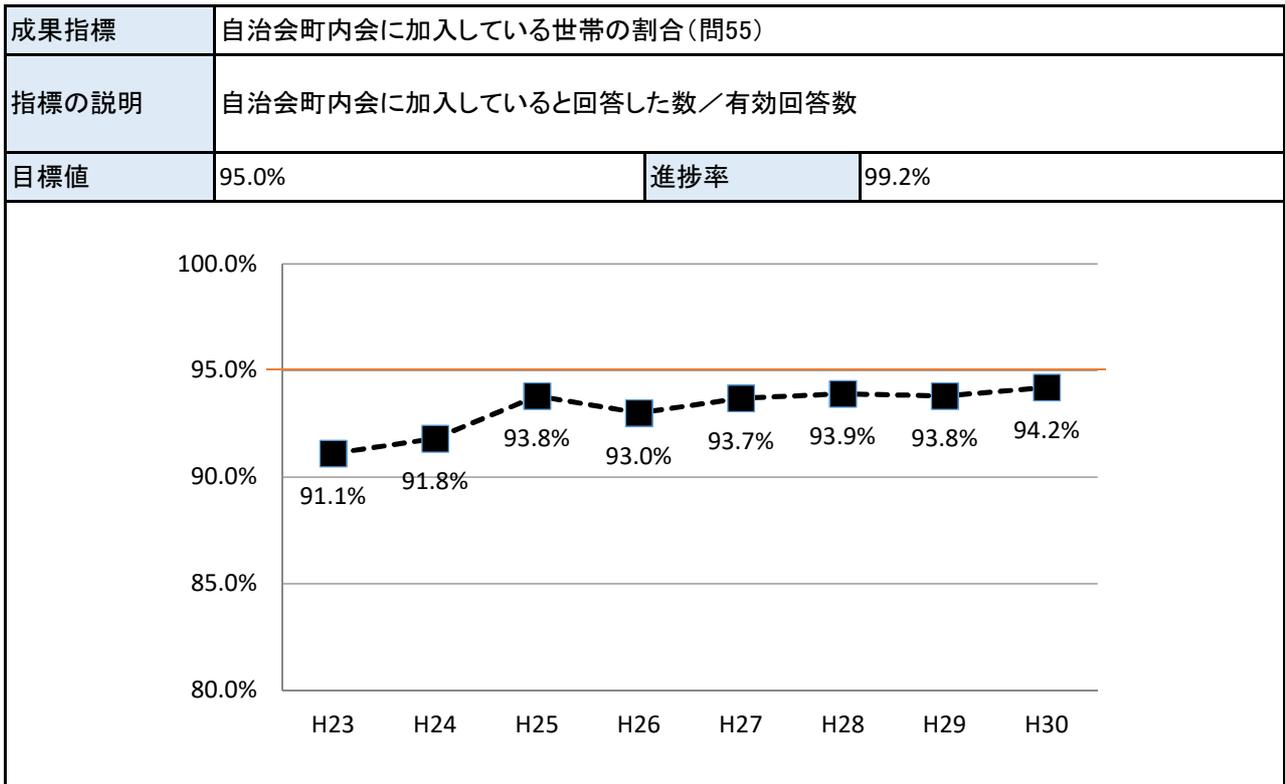


(19) 市民と行政の協働のまちづくりの推進

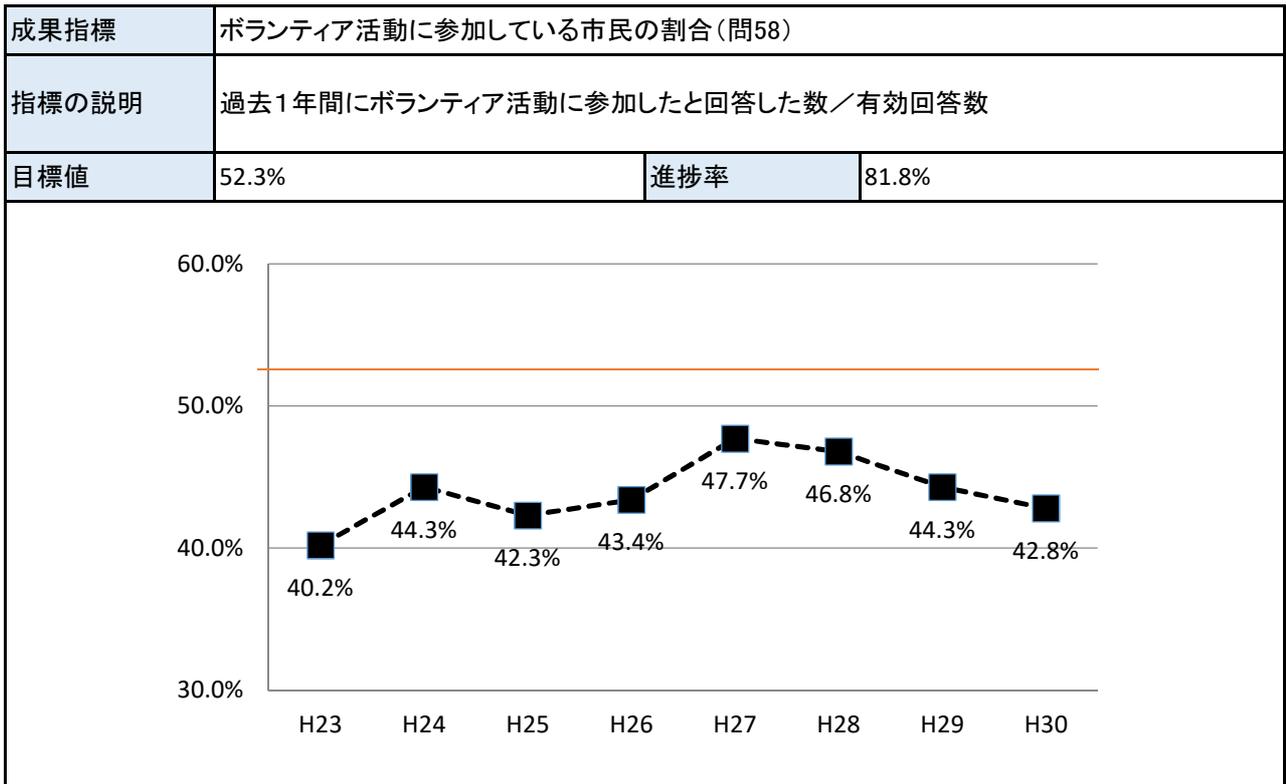


※H23、24年は設問内容に相違点あり。

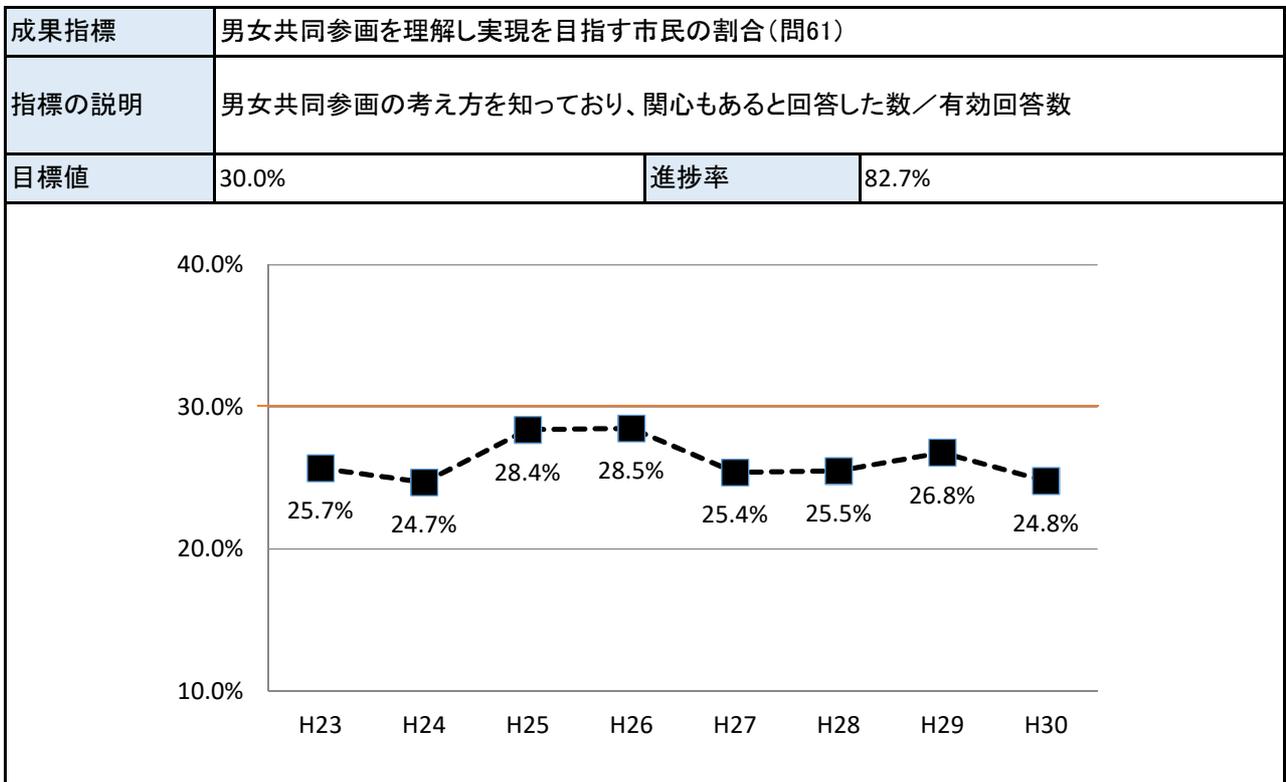
(20) 自ら考え自ら行動するコミュニティ活動への支援



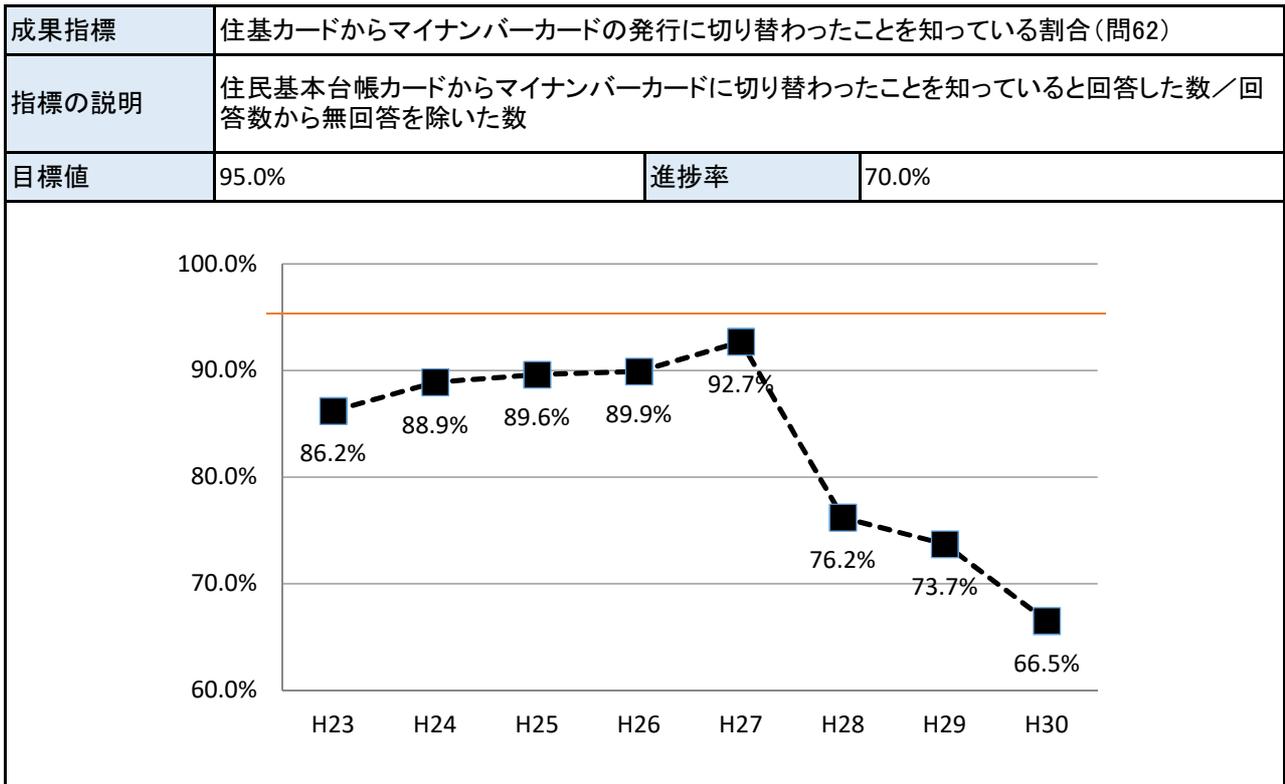
(21) 地域社会を支えるボランティア活動の推進



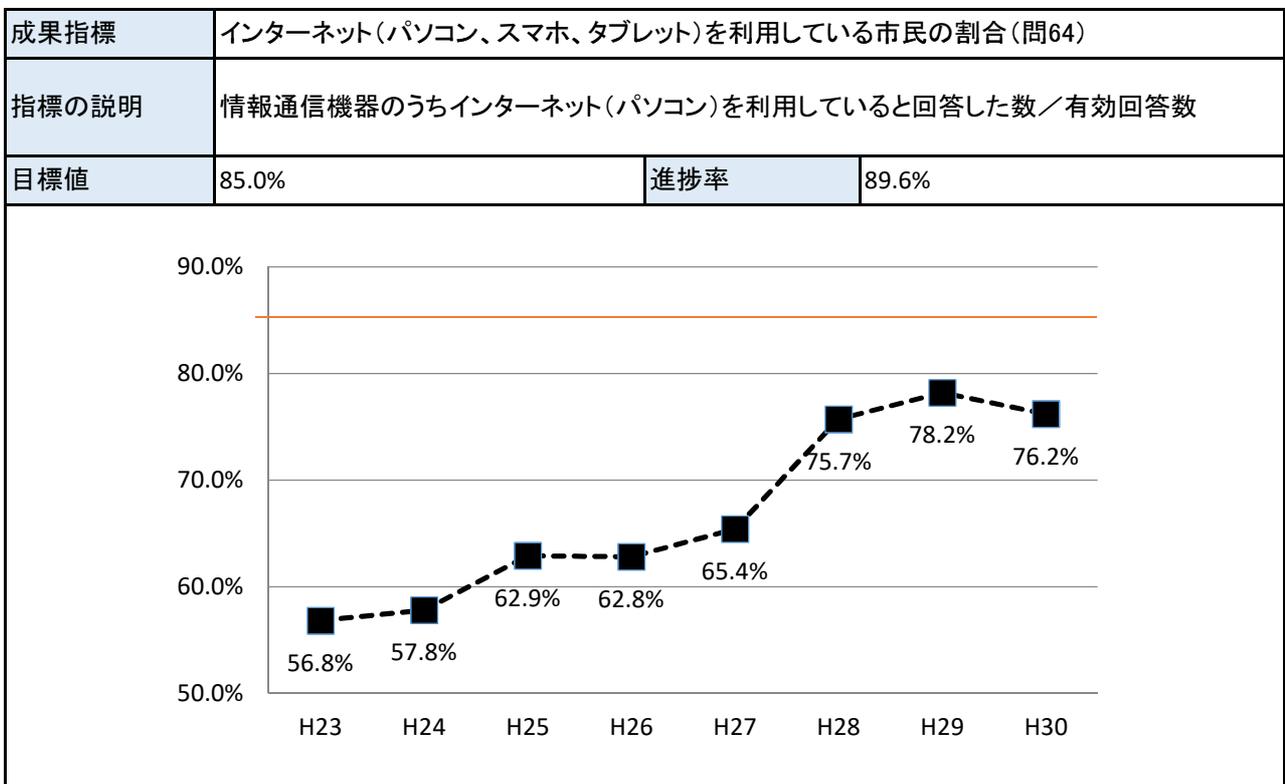
(22) 人権が尊重される社会と男女共同参画の推進



(23) 情報を自由に活用できる社会の構築



※H28より設問内容に変更点あり。



※H28より設問内容に変更点あり。

(25) 効果的で効率的な行政経営

